

中井町障がい福祉計画アンケート 調査報告書

令和5年10月

中井町

<目次>

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収状況	1
4 報告書の見方	1
II 障がい福祉計画アンケート調査A【対象：障害手帳所持者】	2
1. アンケート回答者について	2
2. 調査対象者ご本人について	2
3. 所持している障害者手帳について	3
4. 難病認定・診断等について	5
5. 日常生活について	6
6. 障がい福祉サービス等の利用について	7
7. 住まいについて	14
8. 日中活動や就労について	16
7. 相談や情報収集について	20
8. 防災・防犯について	23
9. 権利擁護について	25
9. 医療について	27
10. 暮らしやすさや将来の生活について	28
11. その他の自由意見	34
III 障がい福祉計画アンケート調査B【対象：障がいのない住民】	36
1. 住まいや家族構成について	36
2. 障がいのある方に対する理解について	37
3. 障がいや福祉に関することについて	42
4. その他の自由意見	49

I 調査概要

1 調査の目的

中井町では、障がい福祉施策を方向付ける「第4次中井町障がい者計画」および障がい福祉サービスの確保を目的とする「第7期障がい福祉計画」「第3期障がい児福祉計画」を策定します。

本調査は、住民の方の意識等を把握することで、障害のある方の福祉向上に向けた計画づくりを進めるために実施したものです。

2 調査の方法

調査の対象	○障害者手帳所持者 360人 ○障害者手帳を所持していない町民 300人
調査方法	郵送発送・郵送回収
調査期間	令和5年3月27日～令和5年4月28日

3 回収状況

調査票配布数、回収状況は以下のとおりとなっています。

対象	配布	回収	
	配布数	回収数	回収率
①障害者手帳所持者	360票	164票	45.6%
②障がいのない住民	300票	121票	40.3%

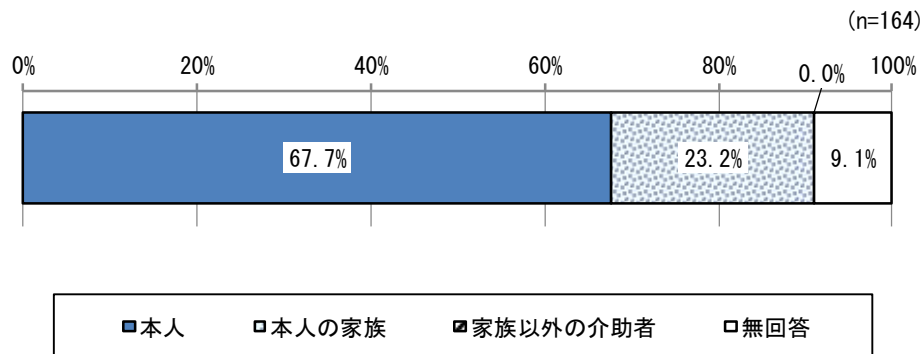
4 報告書の見方

- ① 集計結果を百分率(%)で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記としました。このため、百分率の合計が100にならない場合があります。
- ② 各設問の母数とすべき実数は「n」と表記しました。
- ③ 母数「n」は回答者全員が答えるべき設問については有効回答総数、条件付き設問については、その設問に回答すべき該当者の数としています。

Ⅱ 障がい福祉計画アンケート調査A【対象：障害手帳所持者】

1. アンケート回答者について

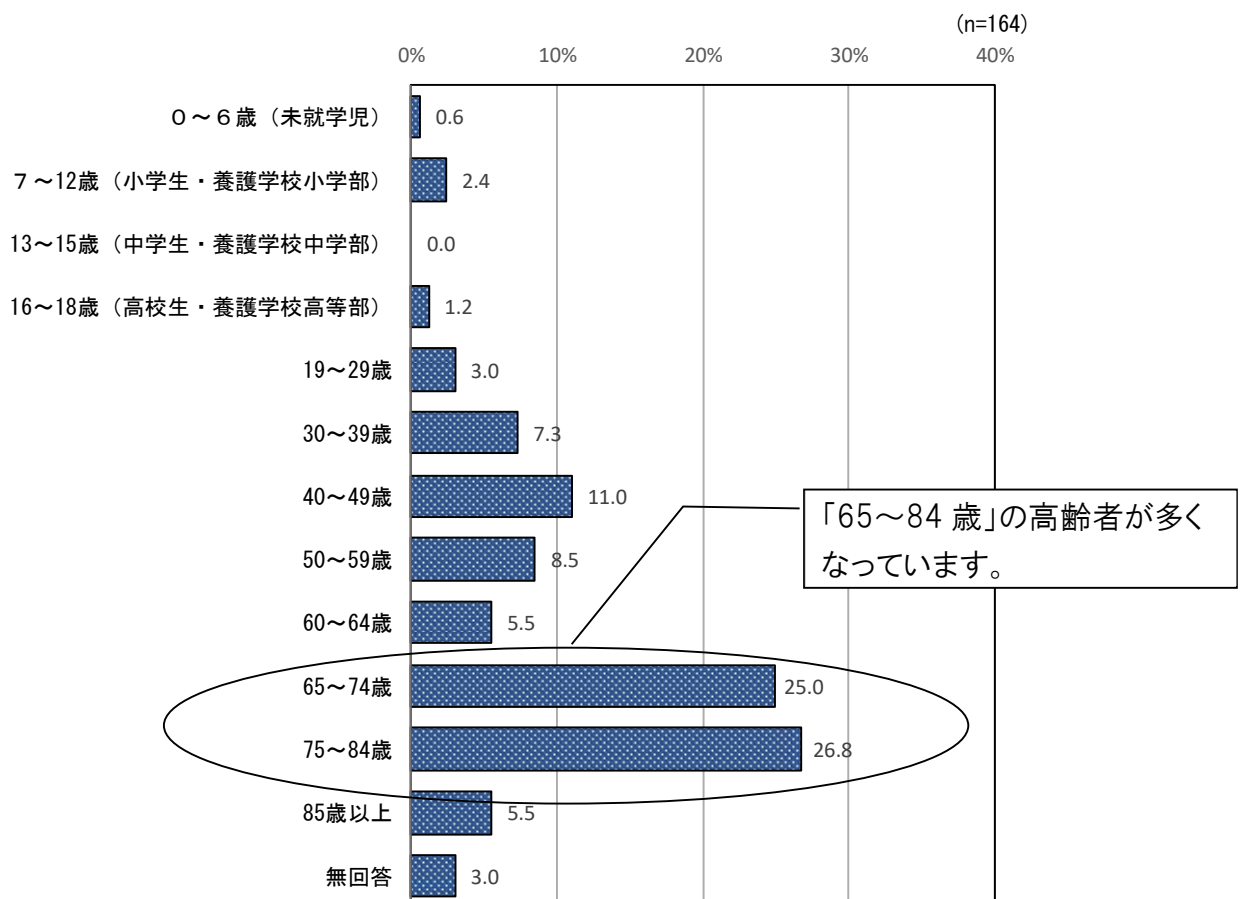
回答者については、「ご本人が記入」が67.7%、「本人の家族」が23.2%などとなっています。



2. 調査対象者ご本人について

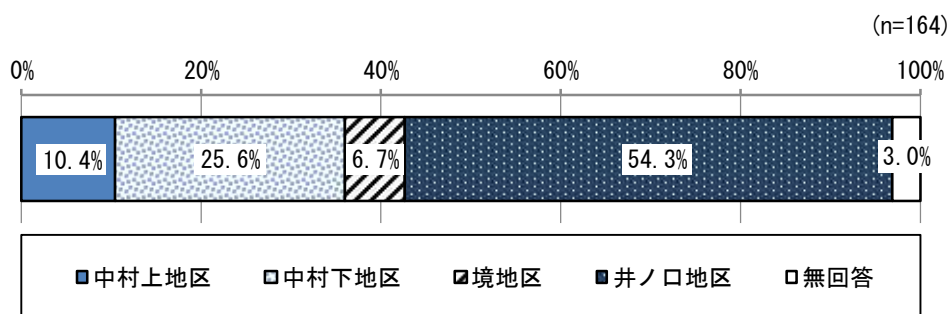
(1) 調査対象者の年齢

年齢については、「65～74歳」が25.0%、「75～84歳」が26.8%などとなっており、高齢者が多くなっています。



(2) 調査対象者の居住地

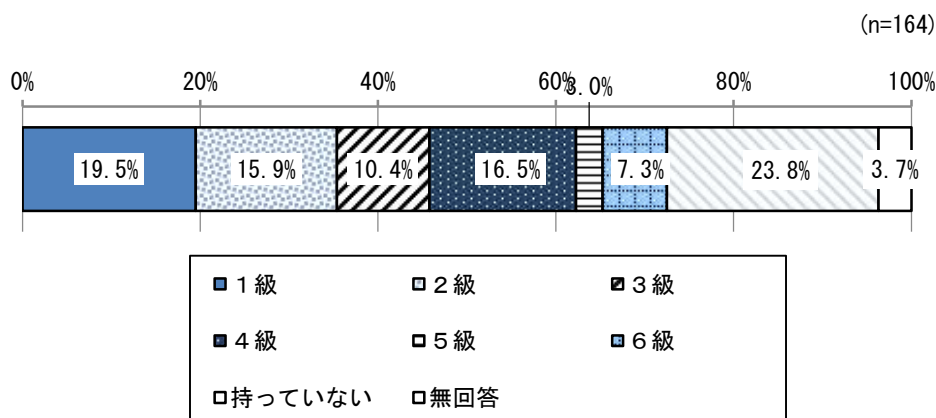
居住地については、「井ノ口地区」が54.3%、「中村上地区」が25.6%などとなっています。



3. 所持している障害者手帳について

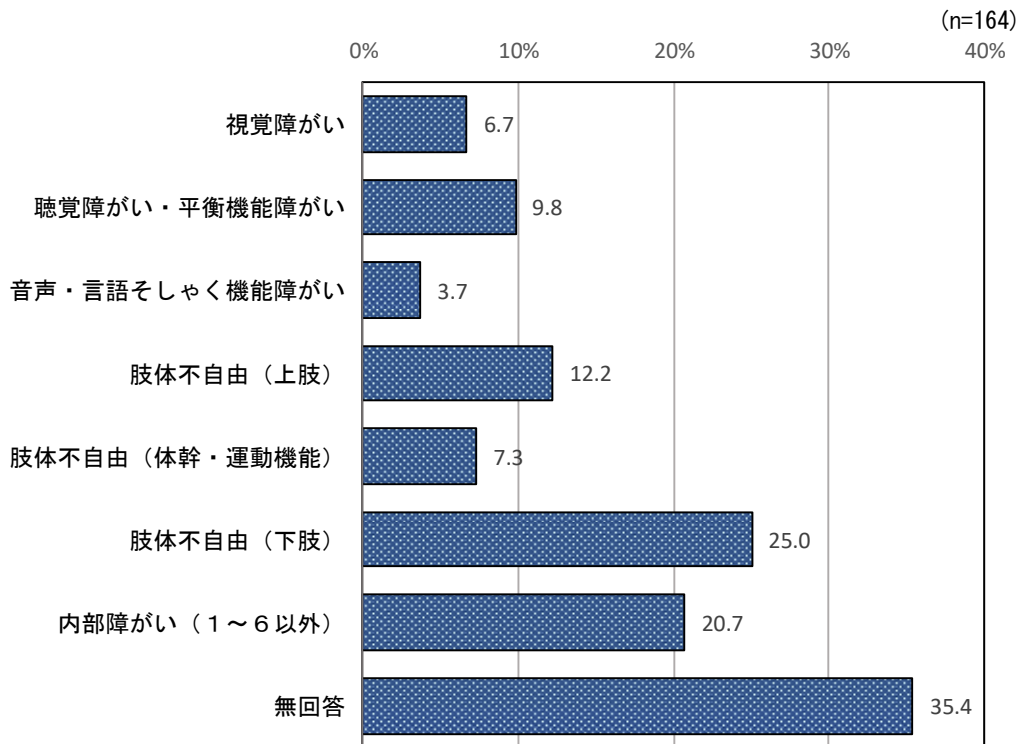
(1) 身体障害者手帳

身体障害者手帳を持っている方の等級については、「1級」が19.5%、「2級」が15.9%、「3級」が10.4%、「4級」が16.5%、「5級」が3.0%、「6級」が7.3%となっています。



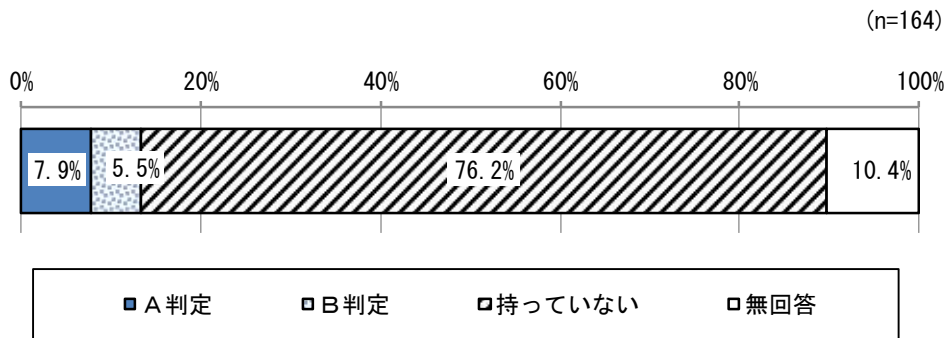
(2) 障がいの種類

障がいの種類については、「肢体不自由（下肢）」が25.0%と最も多く、「内部障ししょうがい」が20.7%となっています。



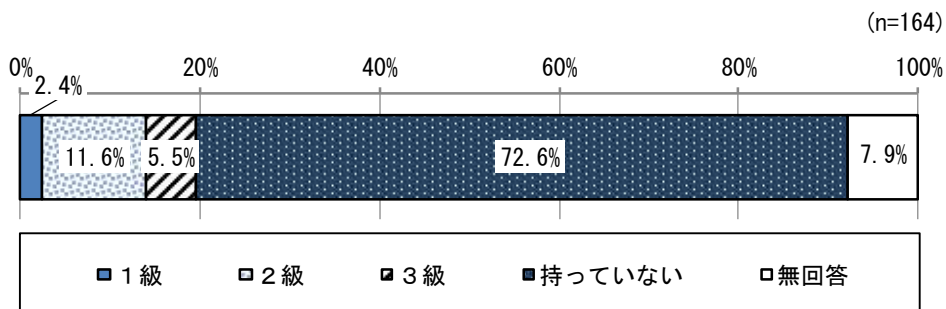
(3) 療育手帳

療育手帳を持っている方の障がい程度については、「A判定」が7.9%、「B判定」が5.5%となっています。



(4) 精神障害者保健福祉手帳

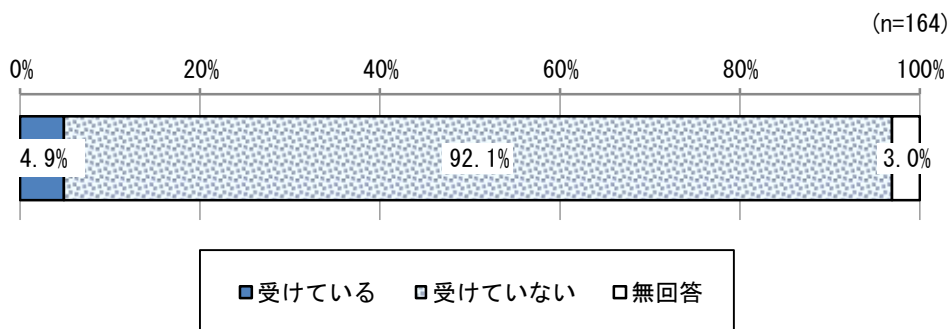
精神障害者保健福祉手帳を持っている方の等級については、「1級」が2.4%、「2級」が11.6%、「3級」が5.5%となっています。



4. 難病認定・診断等について

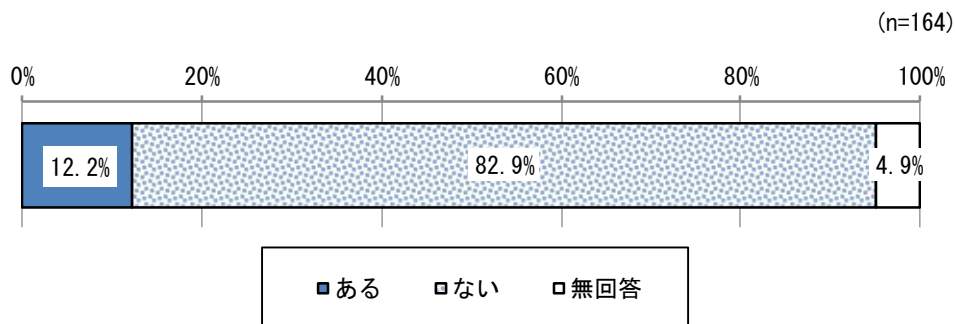
(1) 難病認定

難病認定については、「受けている」が4.9%、「受けていない」が92.1%となっています。



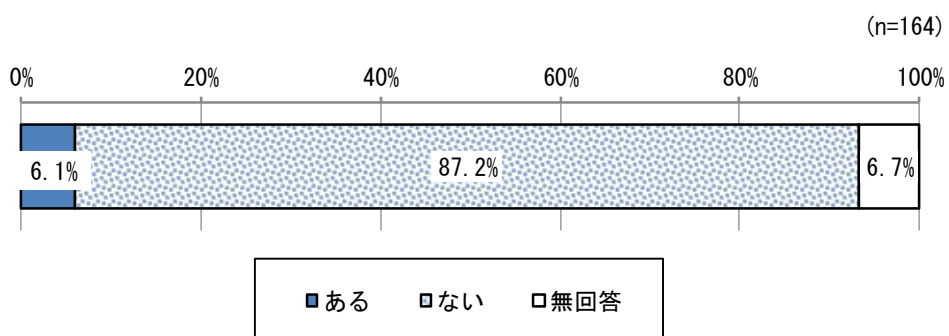
(2) 発達障がいの診断

発達障がいの診断を受けたことが「ある」が12.2%、「ない」が82.9%となっています。



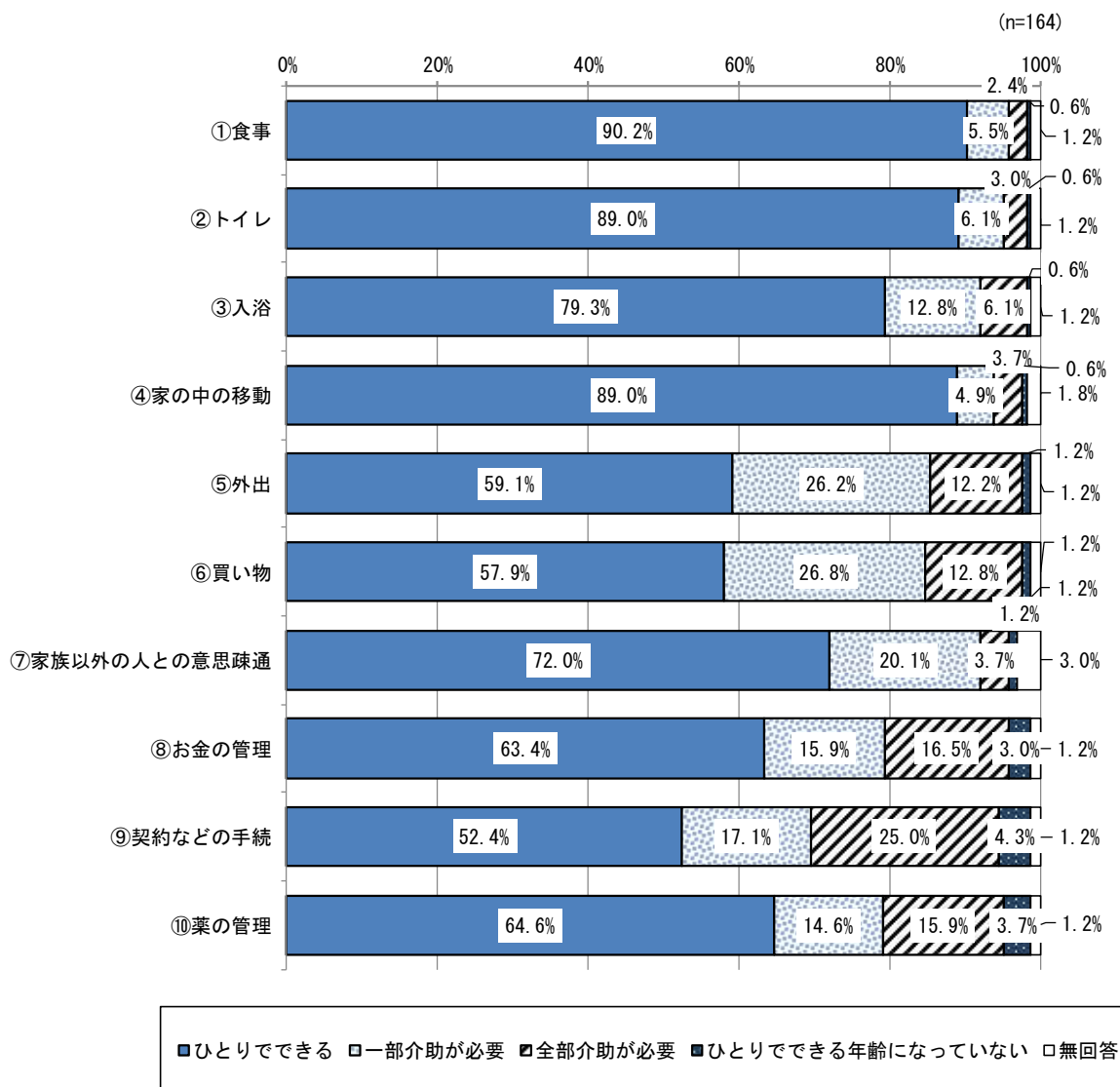
(3) 高次脳機能障がいの診断

高次脳機能障がいの診断を受けたことが「ある」が6.1%、「ない」が87.2%となっています。



5. 日常生活について

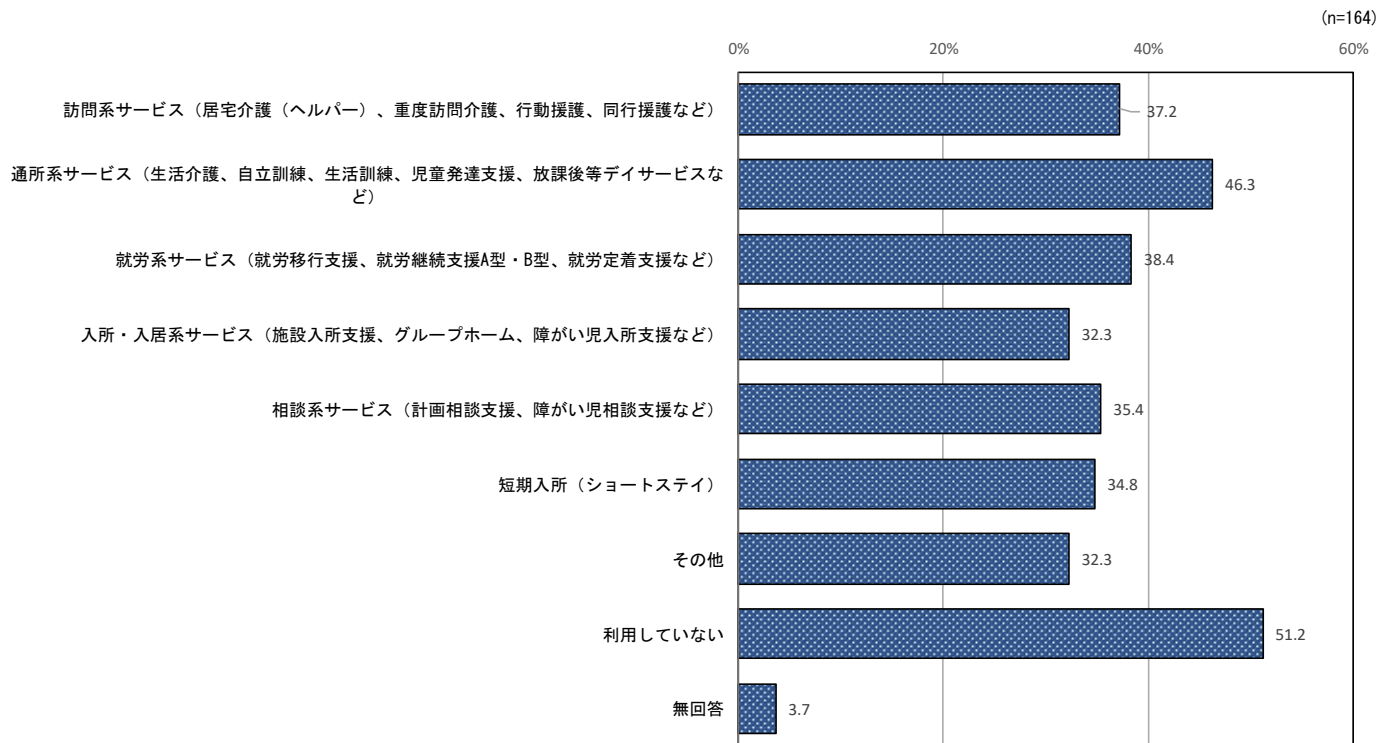
日常生活について、「食事」や「家の中の移動」や「トイレ」については「ひとりでできる」との回答が多く約9割なっています。一方で、「外出」や「買い物」については「一部介助が必要」との回答が2割強を占めています。



6. 障がい福祉サービス等の利用について

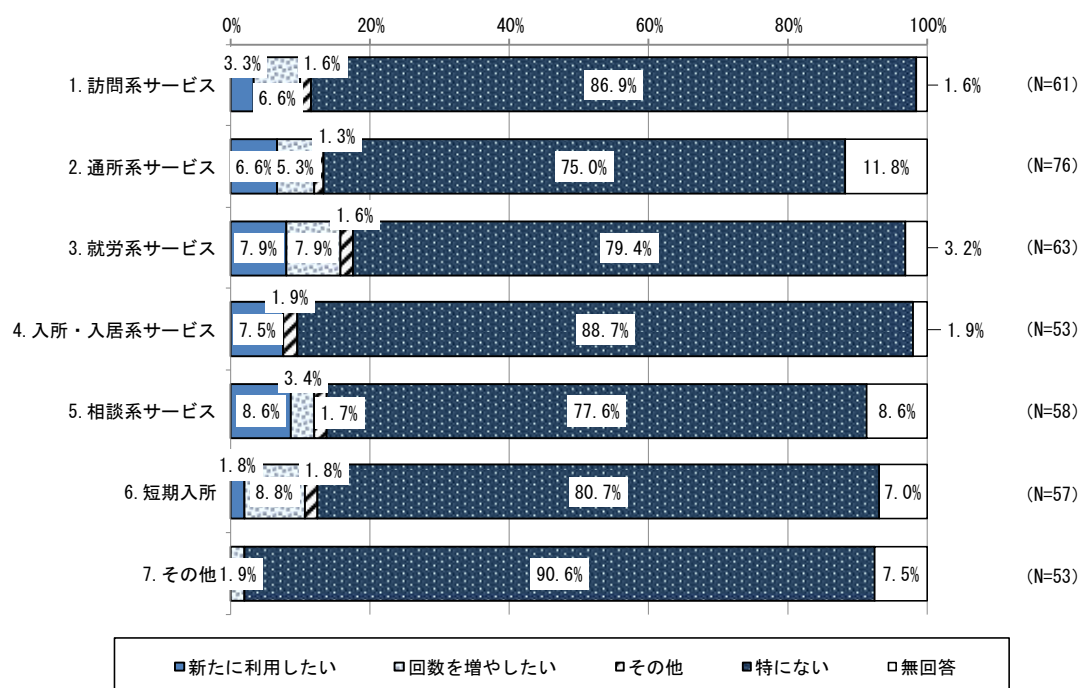
(1) 現在利用しているサービス

現在利用しているサービスについては、「訪問系サービス」が37.2%、「通所系サービス」が46.3%、「就労系サービス」が38.4%、「入所・入居系サービス」が32.3%、「相談系サービス」が35.4%、「短期入所」が34.8%となっています。



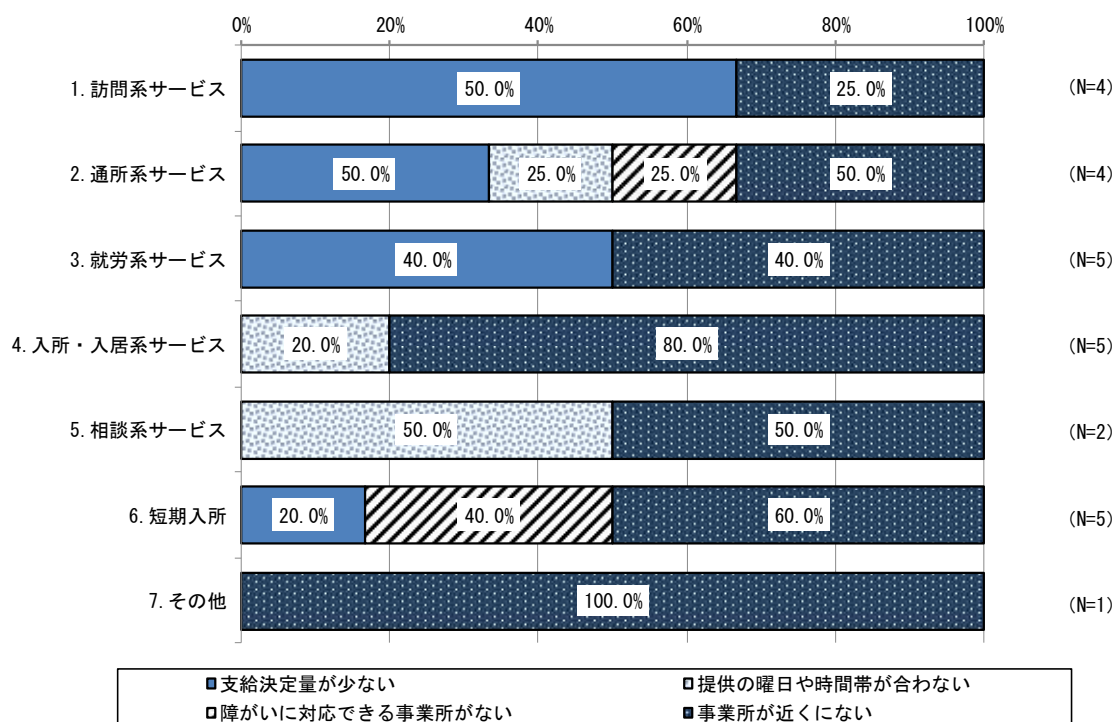
(2-1) 各サービスについての今後の利用意向

新たに利用したいサービスについて、「相談系サービス」が最も高く8.6%となっています。今後回数を増やしたいサービスについては「短期入所」が最も高く8.8%となっています。



(2-2) 現在、サービスを利用できない理由

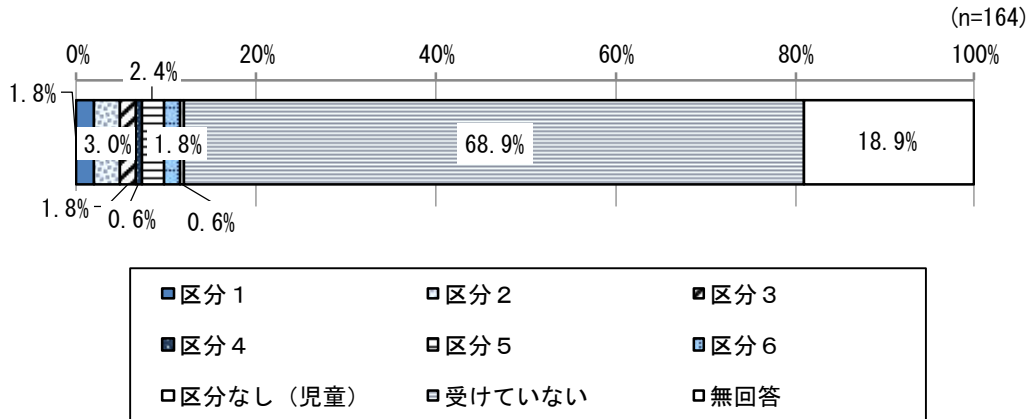
今後サービスの利用回数を増やしたいが現在できない理由として、「訪問系サービス」は「支給決定量が少ない」、「入所・入居系サービス」では「事業所が近くにない」ことが主な要因となっています。



(3) 障害者自立支援サービスの障害支援区分認定について

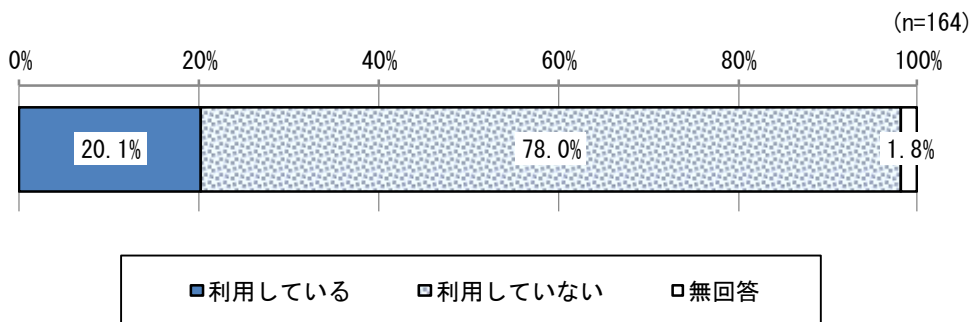
障害者自立支援サービスの障害支援区分認定を受けているかについては、「受けている」が12.0%、「受けていない」が68.9%、「わからない」が18.9%となっており、認定を「受けている」と回答した方については、「区分2」が3.0%、「区分5」が2.4%などとなっています。

また、要介護認定を「受けている」と回答した方の要介護認定区分については、「要介護5」が20.0%、「要介護2」が16.9%、「要介護3」が15.4%などとなっています。



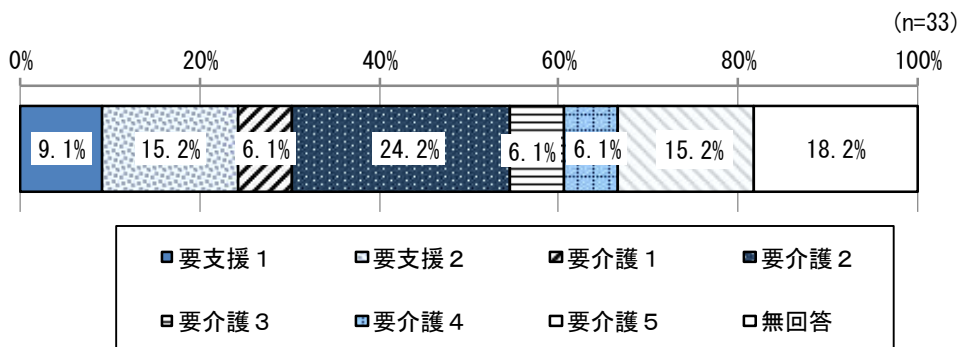
(4) 介護保険サービスの利用状況について

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が20.1%、「利用していない」が78.0%となっています。



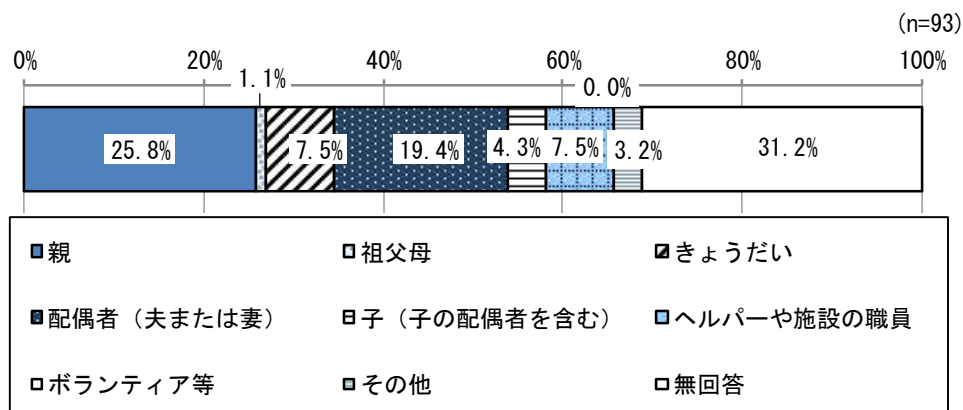
(5) 要介護度認定について

要介護認定を「受けている」と回答した方の要介護認定区分については、「要介護2」が24.2%、「要支援2」が15.2%、「要介護5」が15.2%などとなっています。



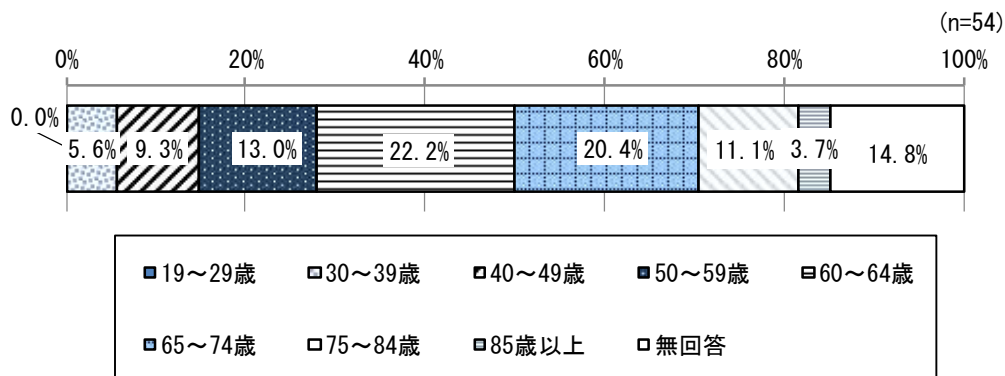
(6-1) 介助者や介護者について

介助者、介護者については「親」が25.8%、「配属者（夫または妻）」が19.4%となっています。



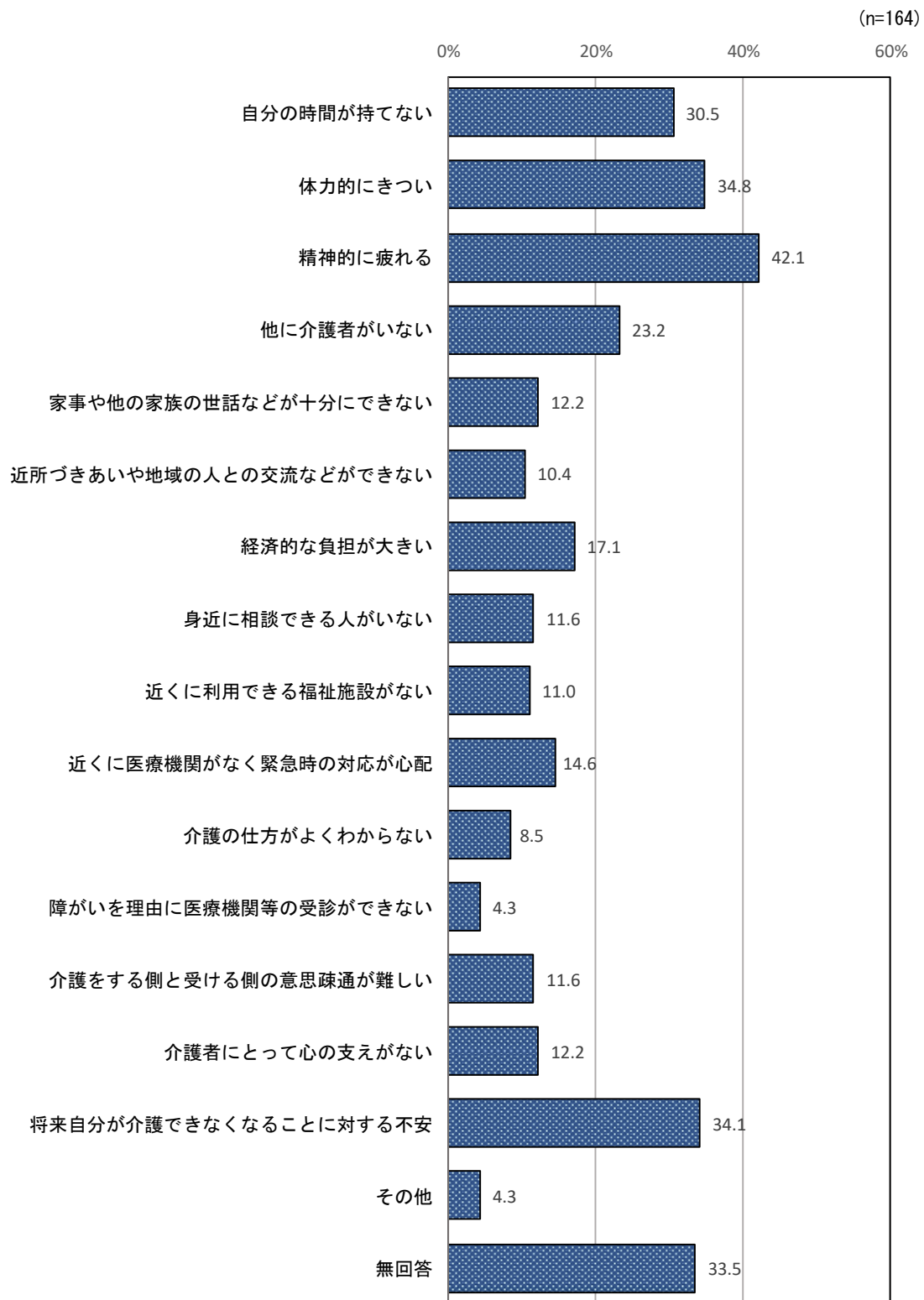
(6-2) 介助者や介護者の年齢について

介助者、介護者の年齢については「60～64歳」が22.2%、「65～74歳」が20.4%となっています。



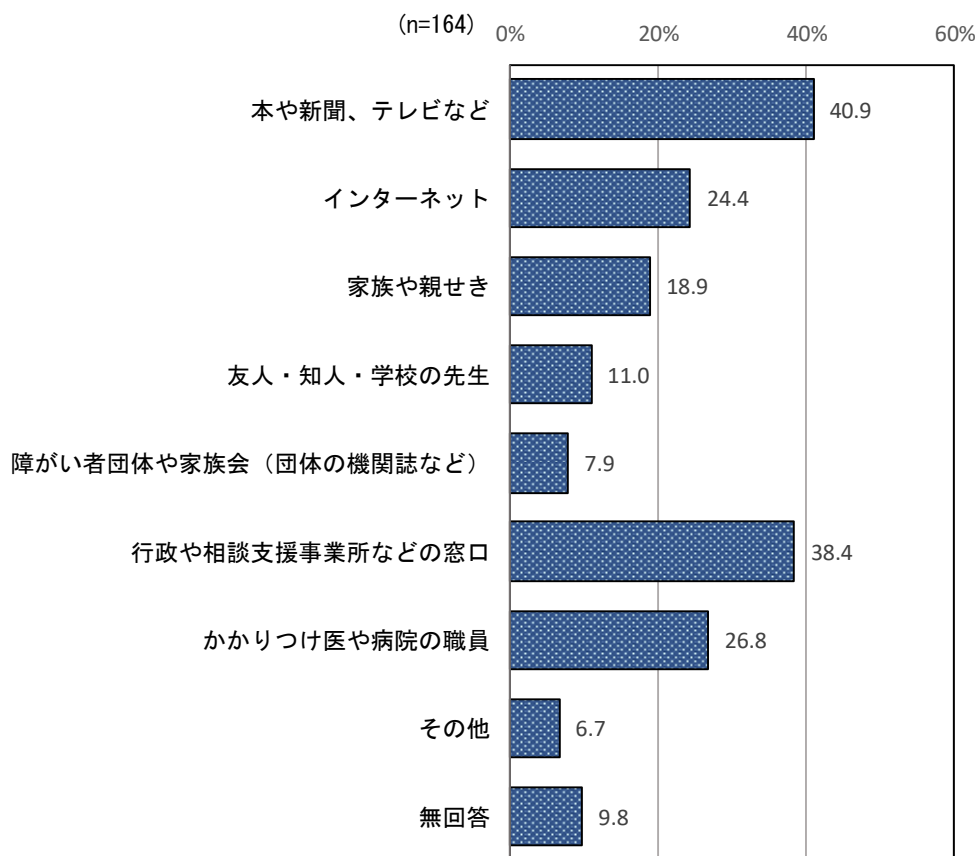
(6-3) 介護者が介護する上での悩みや問題について

介護者が介護する上での悩みや問題については、「精神的に疲れる」が42.1%、「体力的にきつい」が34.8%、「将来自分が介護できなくなることに対する不安」が34.1%、「自分の時間が持てない」が30.5%となっています。



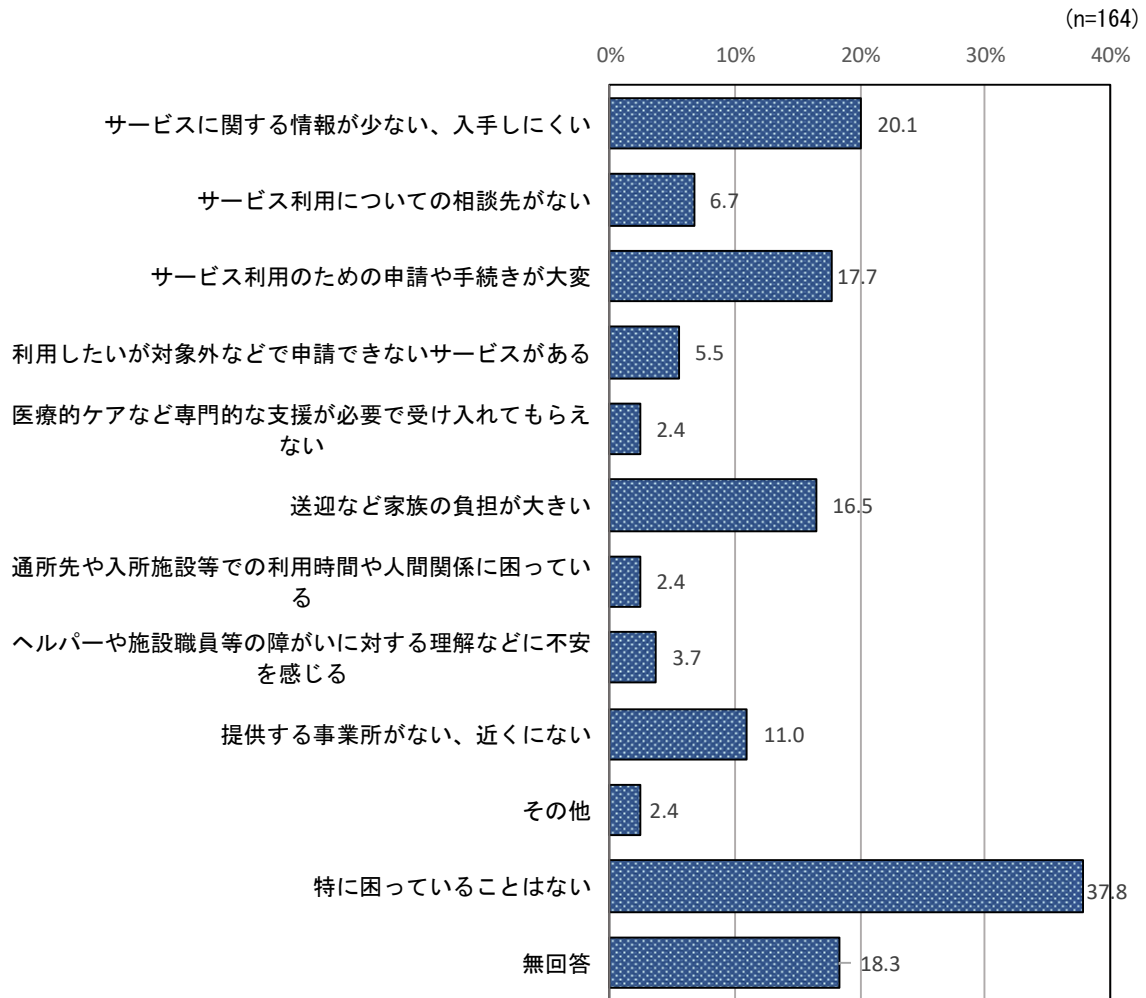
(7) 障がいや福祉サービスなどに関する情報について

障がいや福祉サービスなどに関する情報の入手元については、「本や新聞、テレビなど」が40.9%と最も高く、続いて「行政や相談支援事業所などの窓口」が38.4%などとなっています。



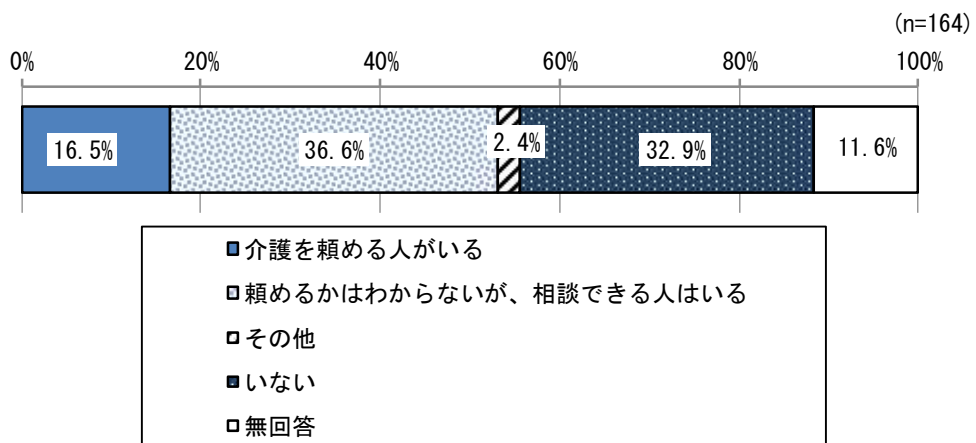
(8) サービスの利用全般について困っていること

サービスの利用全般で困っていることについて、「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」が20.1%、「サービス利用のための申請や手続きが大変」が17.7%、「送迎など家族の負担が大きい」が16.5%などとなっています。



(9) 他の介護者について

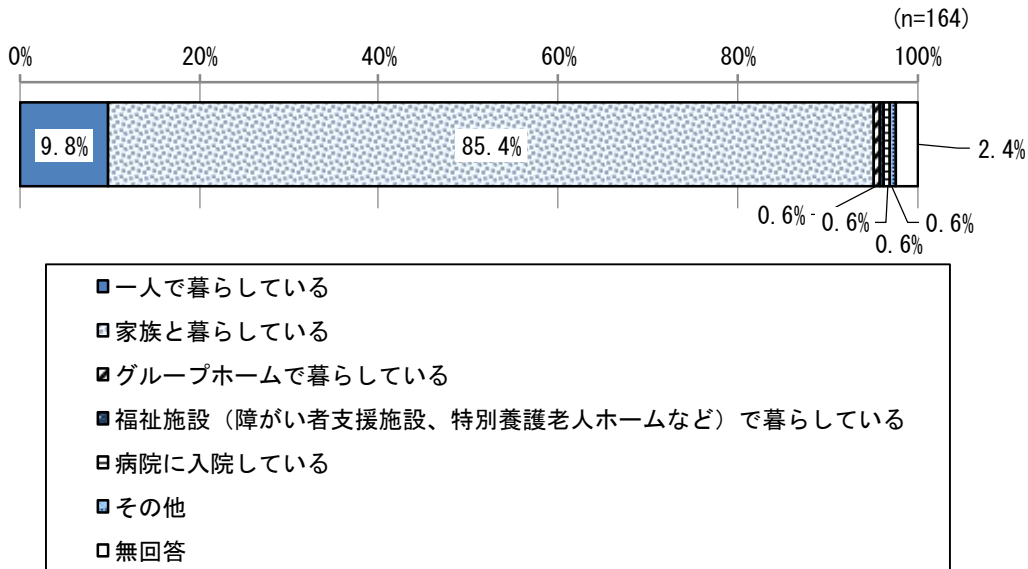
介護者が急病などにより、突然介護ができなくなった場合、家族や新出来などに介護が頼めるか否かについて、「介護を頼める人がいる」が16.5%、「頼めるかわからないが、相談できる人がいる」が36.6%、「いない」が32.9%などとなっています。



7. 住まいについて

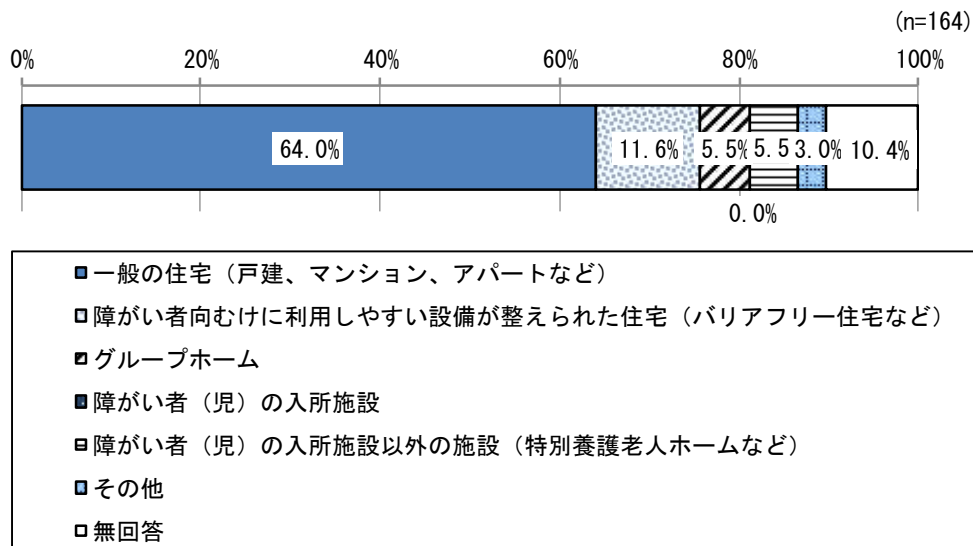
(1) 現在の暮らしについて

現在暮らしている住まいについては、「家族と暮らしている」が85.4%と最も多く、「一人暮らしている」と回答した9.8%と合わせると95.2%が自宅で暮らしています。



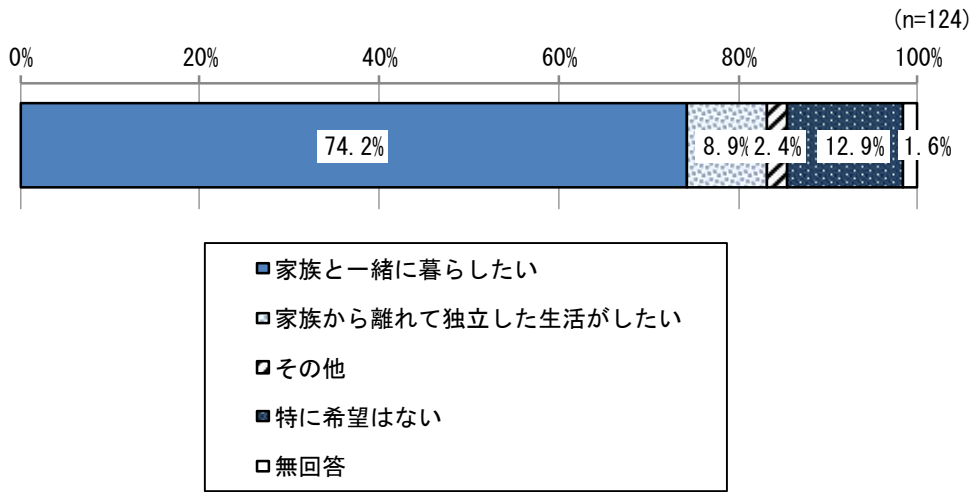
(2) 今後の住まいの希望について

今後の住まいの希望について、「一般の住宅（戸建、マンション、アパートなど）」が64.0%、「障がい者向けに利用しやすい設備が整えられた住宅（バリアフリー住宅など）」が11.6%となっています。



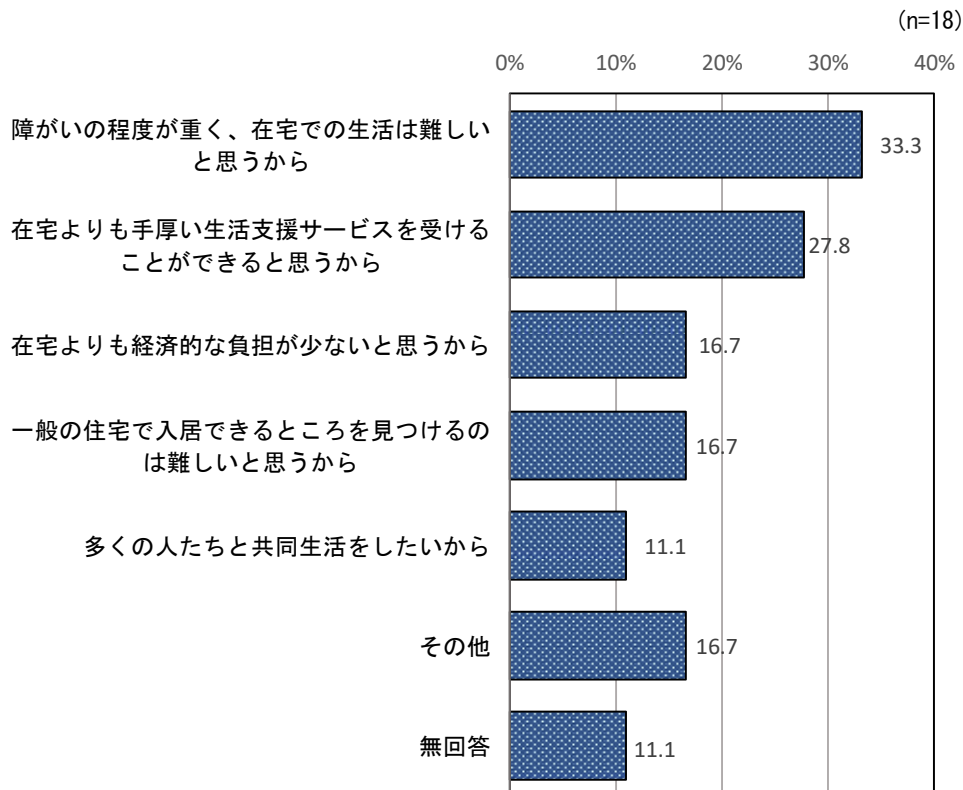
(3) 今後の暮らし方の希望について

今後の暮らし方の希望について、「家族と一緒に暮らしたい」が74.2%、「家族から離れて独立した生活がしたい」が8.9%となっています。



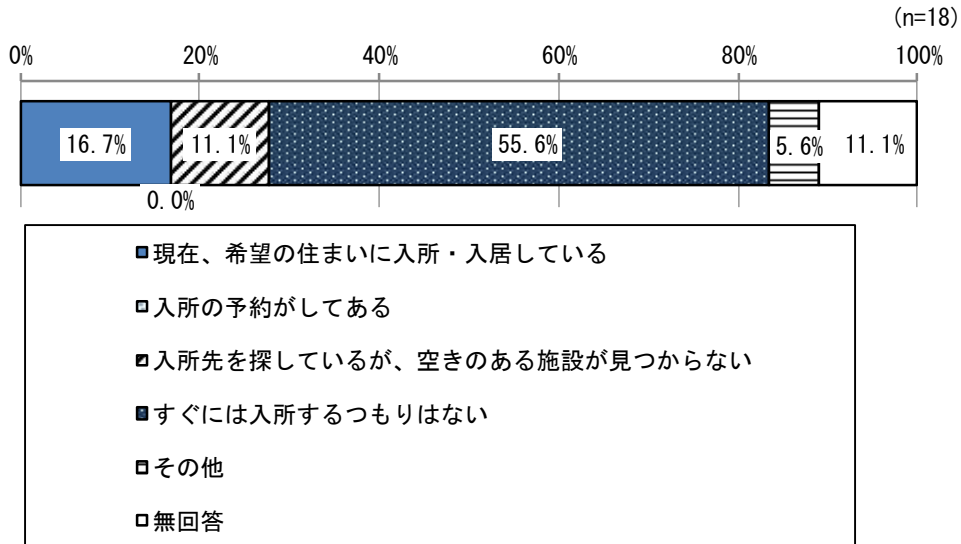
(4) 施設等への入所について

今後の住まいの希望について、「グループホーム」、「障がい者（児）の入所施設」、「障がい者（児）の入所施設以外の施設」を回答した人のうち、施設利用を希望する理由としては、「障がいの程度が重く、在宅での生活は難しいと思うから」が33.3%と最も多く、続いて「在宅よりも手厚い生活支援サービスを受けられると思うから」が27.8%となっています。



(5) 施設の入所・入居の検討状況について

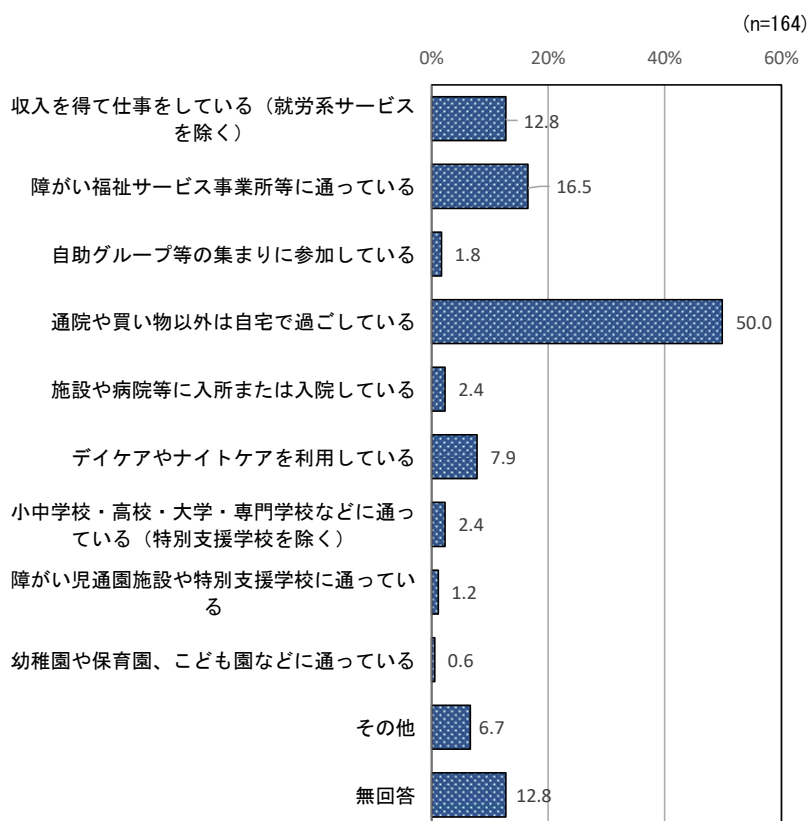
今後の住まいの希望について、「グループホーム」、障がい者（児）の入所施設、「障がい者（児）の入所施設以外の施設」を回答した人のうち、施設の入所・入居の検討状況としては、「現在、希望の住まいに入所・入居している」が16.7%、「入所の予約がしてある」が11.1%、「すぐには入所するつもりはない」が55.6%となっています。



8. 日中活動や就労について

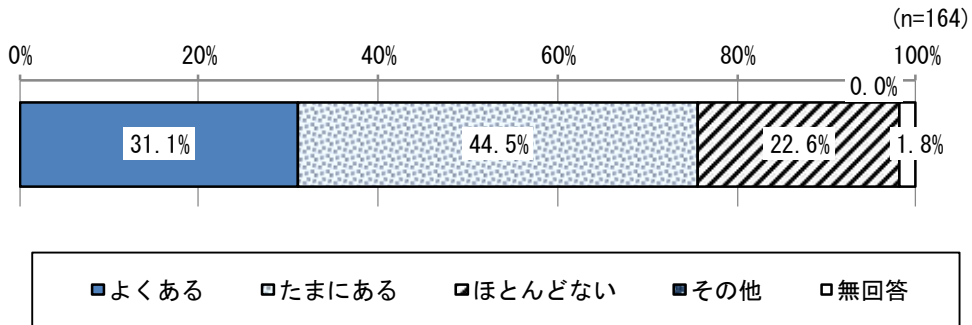
(1) 平日の日中の過ごし方について

平日の日中の過ごし方について、「通院や買い物以外は自宅で過ごしている」が50%と最も高く、「障がい福祉サービス事務所等に通っている」が16.5%、「収入を得て仕事をしている」が12.8%などとなっています。



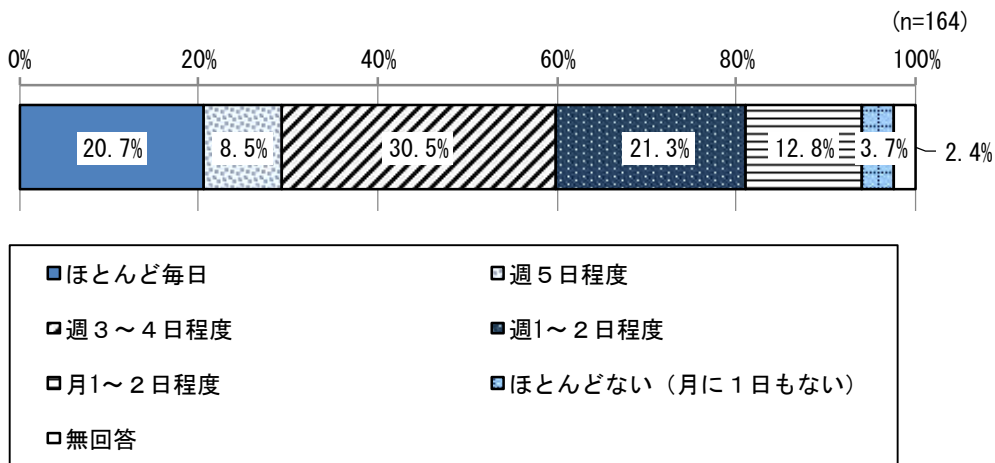
(2) 近所の方と顔を合わせたり、あいさつをする機会について

近所の方と顔を合わせたり、あいさつをする機会について、「よくある」が31.1%、「たまにある」が44.5%となっており合わせて約75%が近所との関係があると回答しています。一方で「ほとんどない」が22.6%となっています。



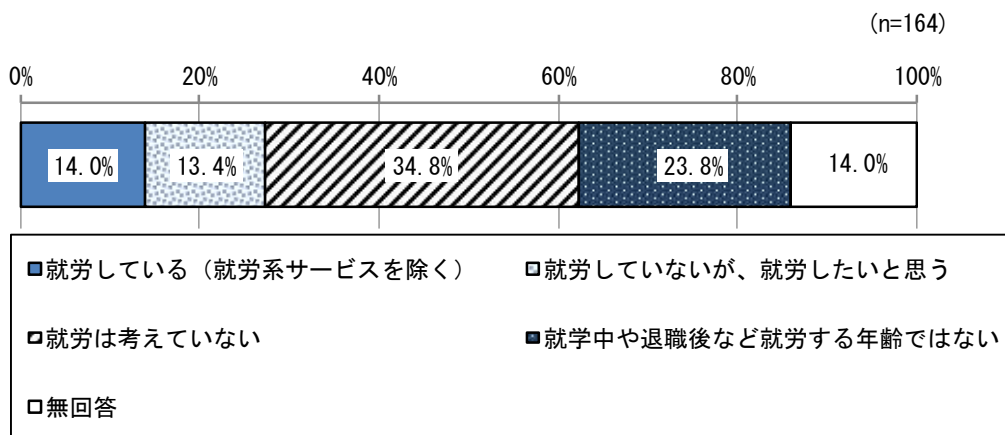
(3) 普段の外出の頻度について

普段の外出の頻度について、「週3～4日程度」が30.5%と最も高く、「週1～2日程度」が21.3%、「ほとんど毎日」が20.7%などとなっています。



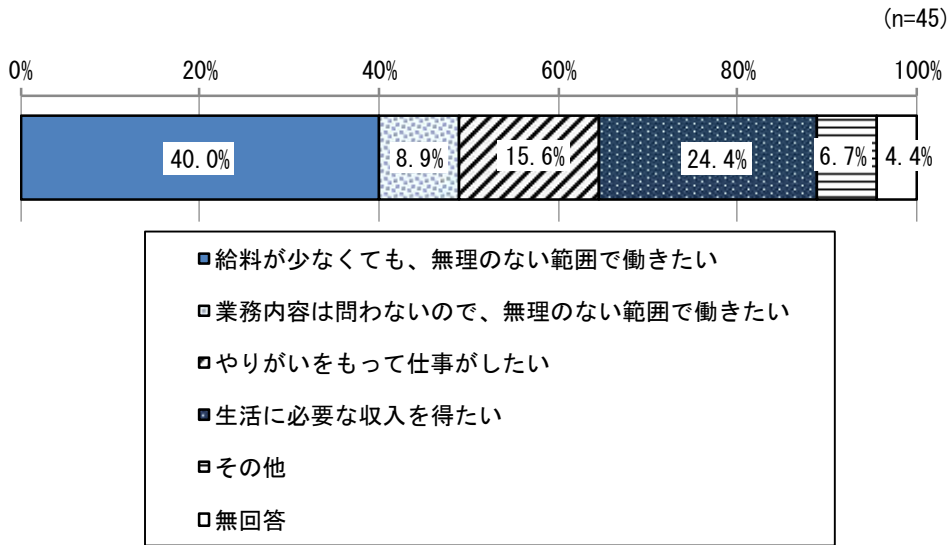
(4) 就労の状況について

就労の状況について、「就労は考えていない」が34.8%と最も高く、「就労していないが、就労したいと思う」が23.8%、「就労している」が14.0%などとなっています。



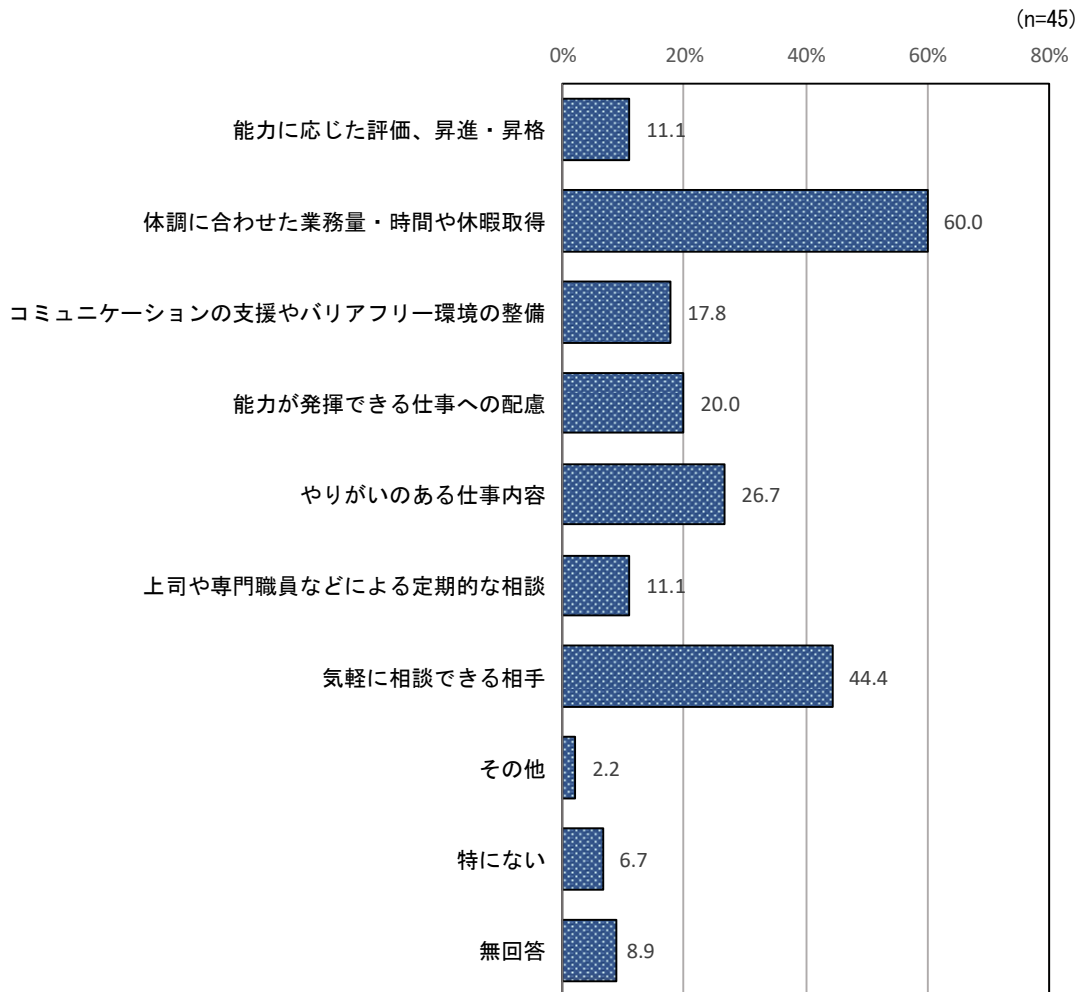
(5) 望む働き方について

望む働き方について、「給料が少なくても、無理のない範囲で働きたい」が40.0%と最も高く、「生活に必要な収入を得たい」が24.4%、「やりがいをもって仕事がしたい」が15.6%などとなっています。



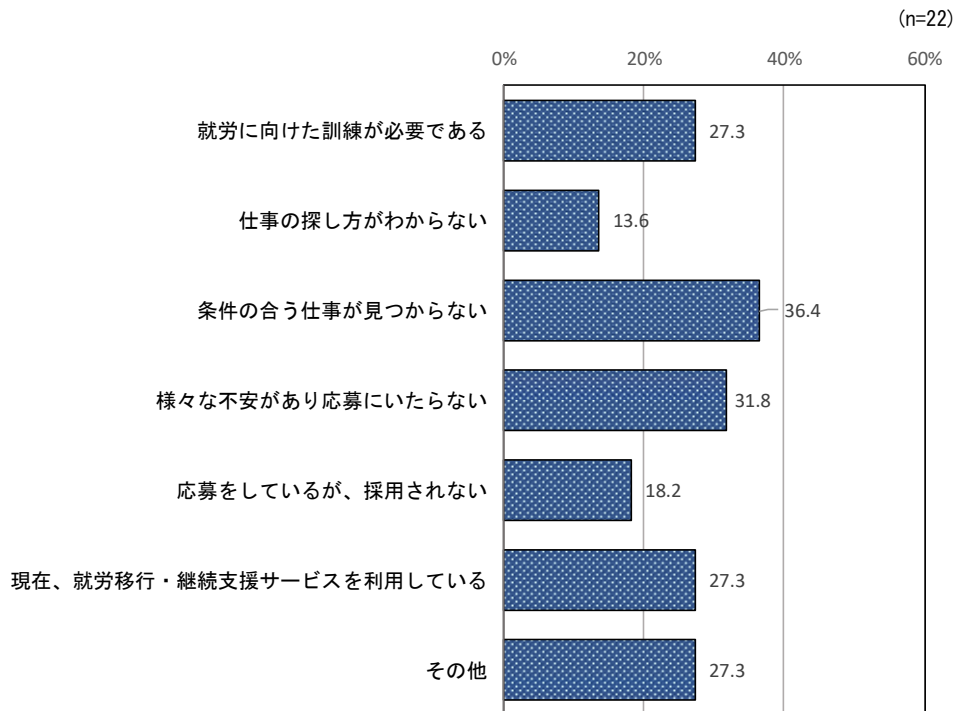
(6) 仕事を続ける上で必要な点について

仕事を続ける上で必要な点について、「体調に合わせた業務量・時間や休暇取得」が60.0%、「気軽に相談できる相手」が44.4%などとなっています。



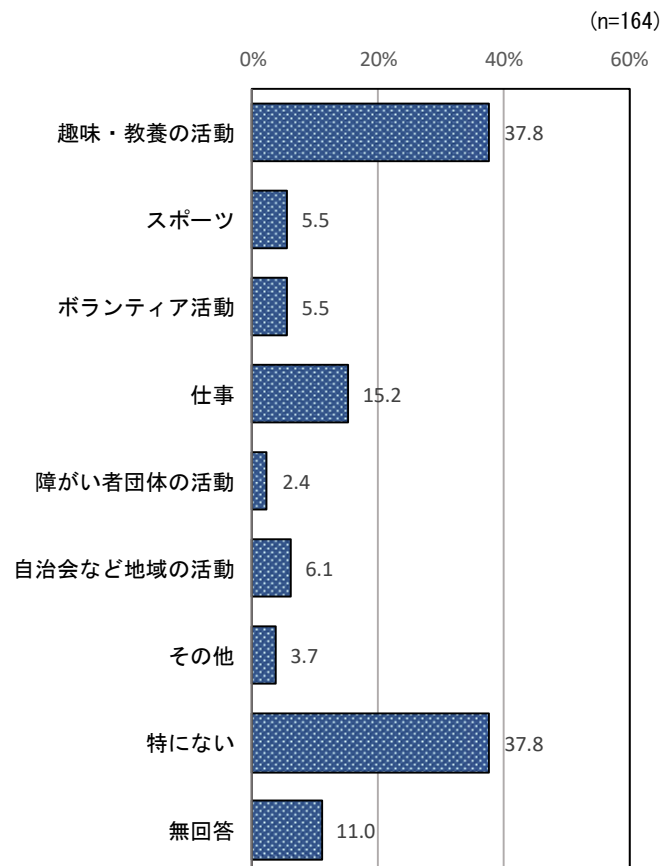
(7) 現在就労していない理由について

現在就労していない理由について、「条件の合う仕事が見つからない」が36.4%、「様々な不安があり応募にいたらない」が31.8%などとなっています。



(8) 今後もっと充実したい活動について

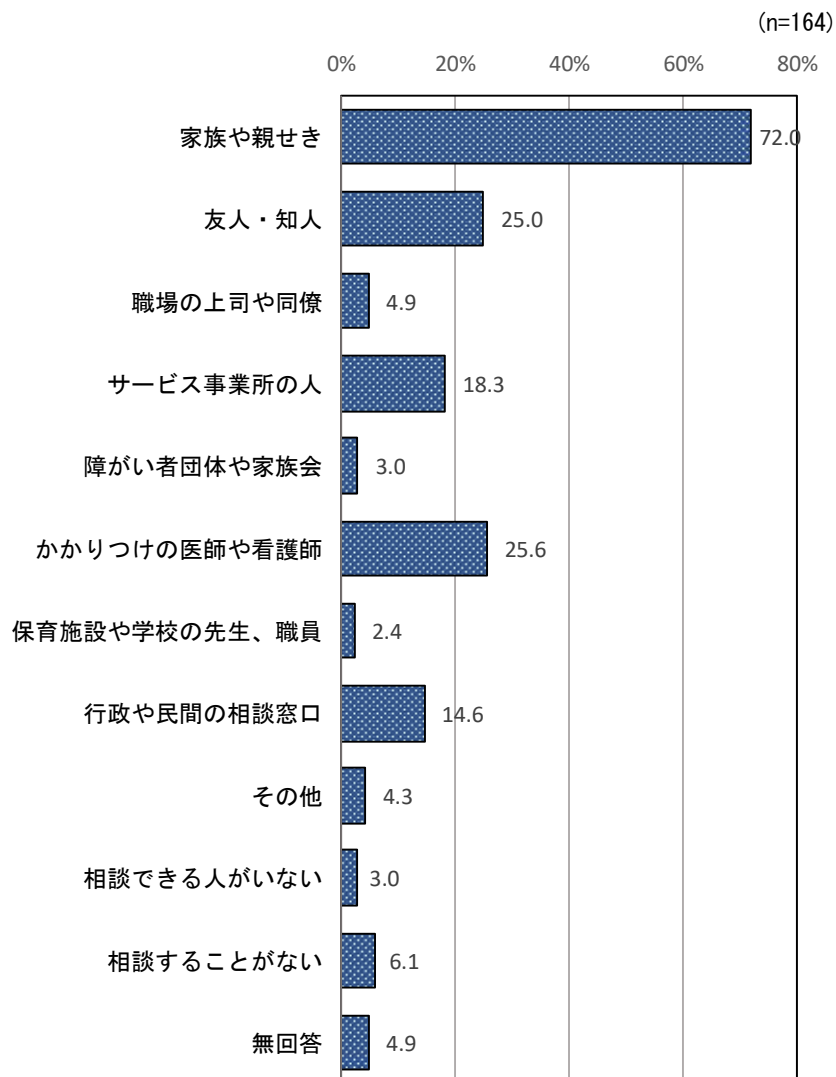
今後もっと充実したい活動について、「趣味・教養の活動」が37.8%、「仕事」が15.2%などとなっています。



7. 相談や情報収集について

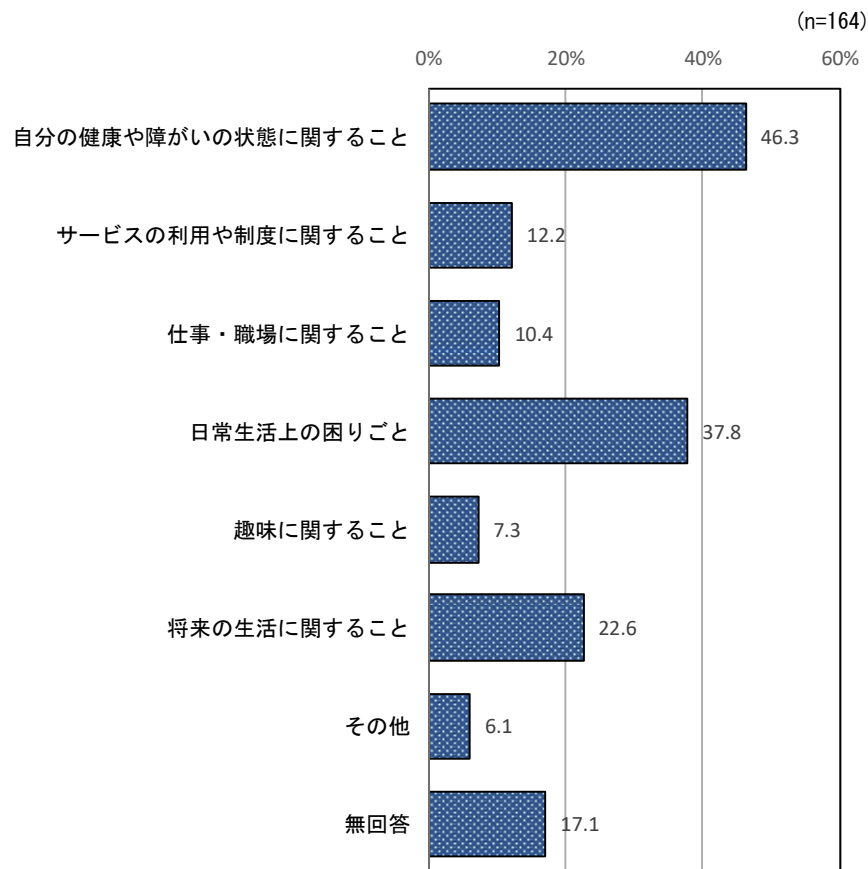
(1) 普段の悩み、困ったことの相談先について

普段の悩み、困ったことの相談先については、「家族や親せき」が72.0%と最も多く、「かかりつけの医師や看護師」が25.6%、「行政や民間の相談窓口」が14.6%などとなっています。



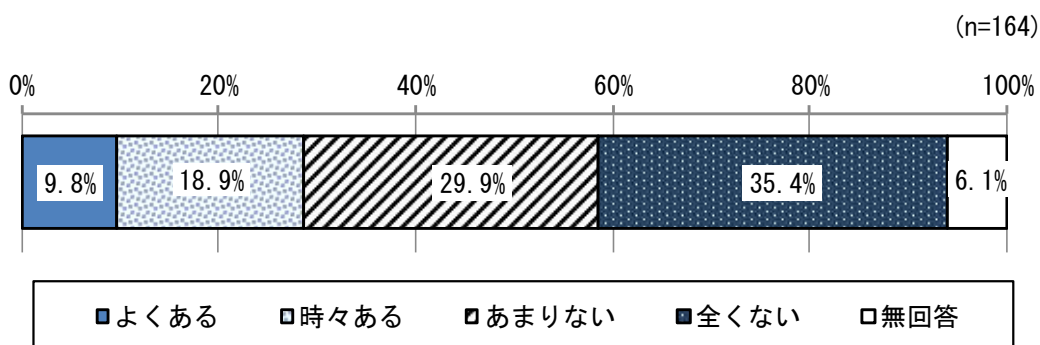
(2) 悩みの相談内容について

悩みの相談内容については、「自分の健康や障がいの状態に関すること」が46.3%と最も多く、「日常生活上の困りごと」が37.8%、「将来の生活に関すること」が22.6%などとなっています。



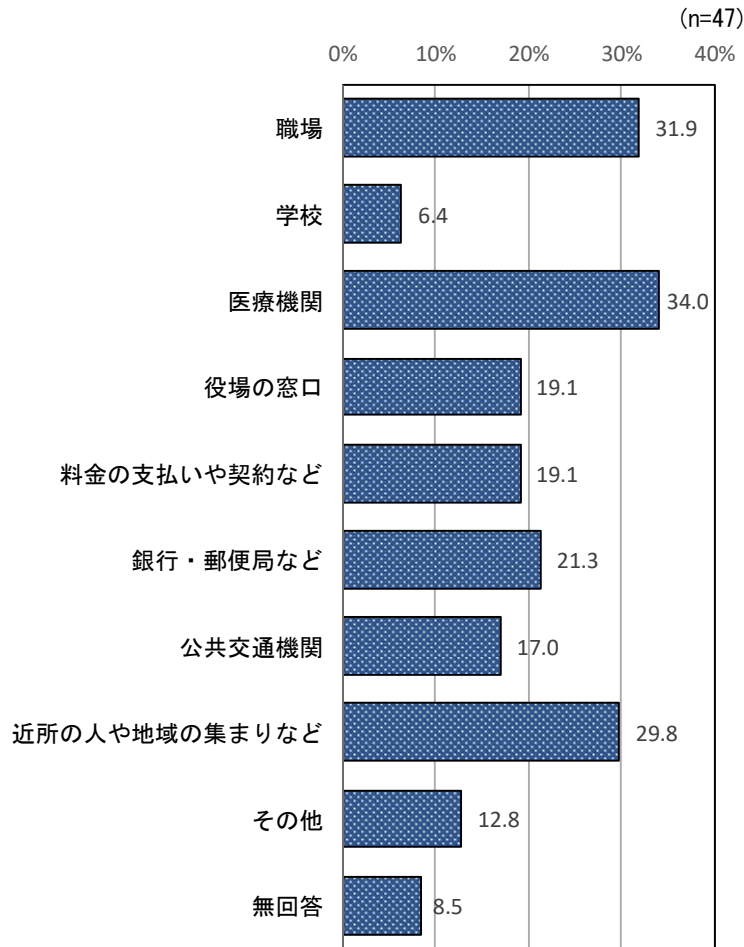
(3) 障がいが原因で、家族や介護者以外との意思疎通に困ることについて

障がいが原因で、家族や介護者以外との意思疎通に困ることについて、「全くない」が35.4%、「あまりない」が29.9%などとなっています。



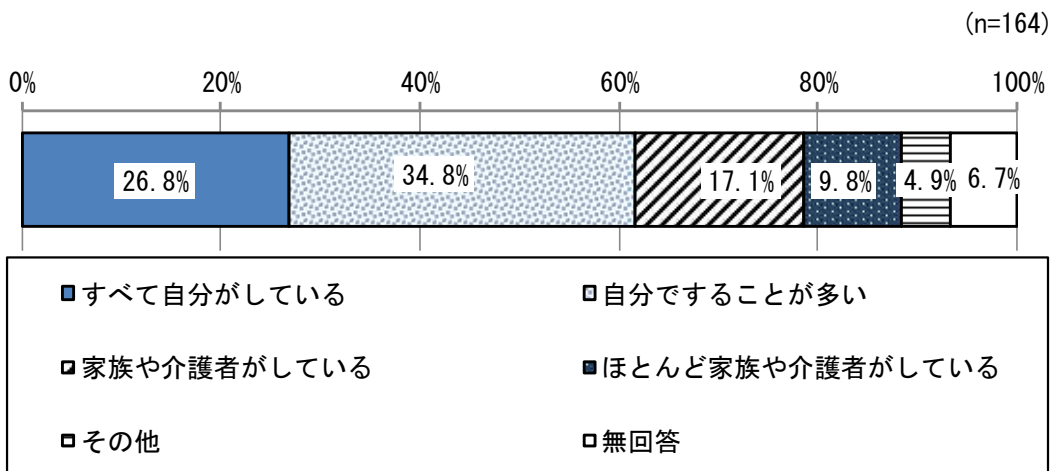
(4) 障がいが原因で、家族や介護者以外との意思疎通に困る場面について

障がいが原因で、家族や介護者以外との意思疎通に困る場面について、「医療機関」が34.0%、「職場」が31.9%、「近所の人や地域の集まりなど」が29.8%などとなっています。



(5) 日常生活に関することやサービス利用に関する判断・決定等について

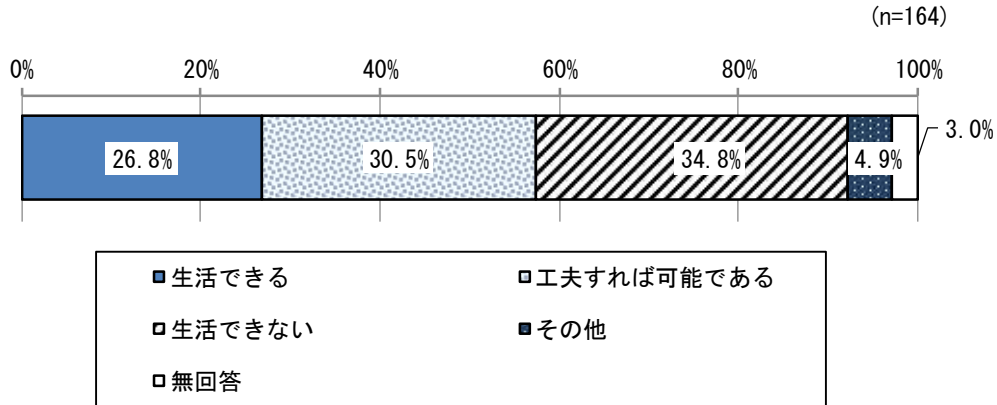
日常生活に関することやサービス利用に関する判断・決定等について、「すべて自分がしている」が26.8%、「自分ですることが多い」が34.8%、「家族や介護者がしている」が17.1%などとなっています。



8. 防災・防犯について

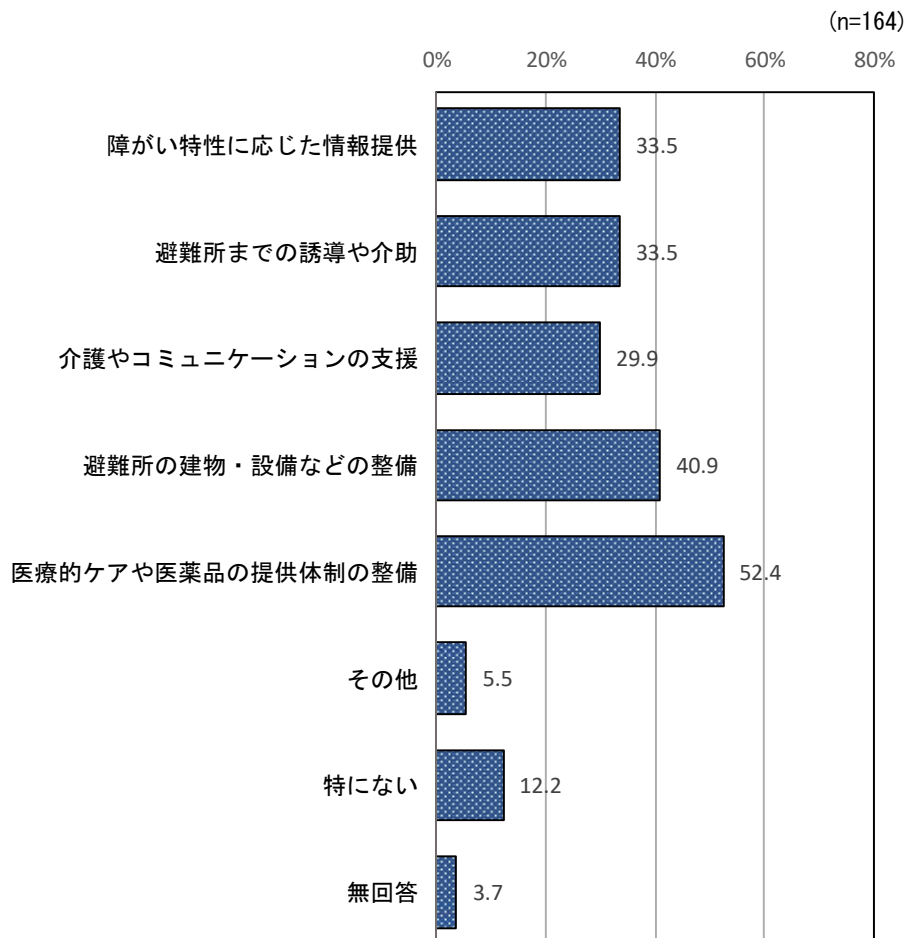
(1) 災害時の避難所生活について

災害時に避難所生活が送れるかについては、「生活できる」が26.8%と最も多く、「工夫すれば可能である」が30.5%、「生活できない」が34.8%などとなっています。



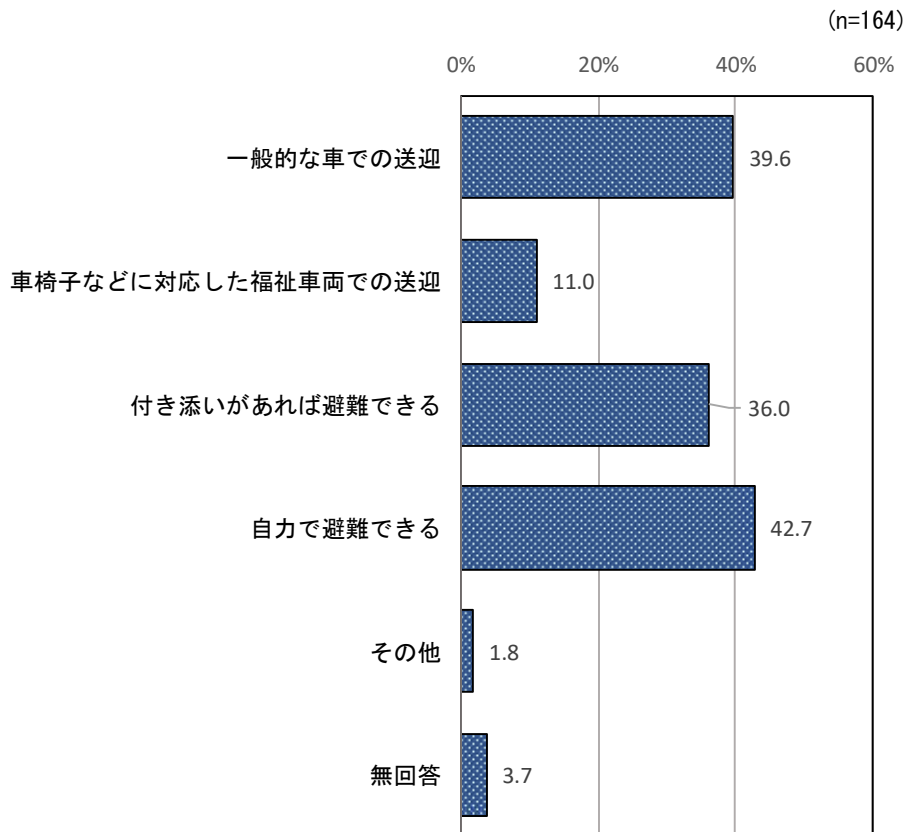
(2) 災害時の避難所生活について

災害時に避難所生活が送れるかについては、「医療的ケアや医薬品の提供体制の整備」が52.4%と最も高く、「避難所の建物・設備などの整備」が40.9%などとなっています。



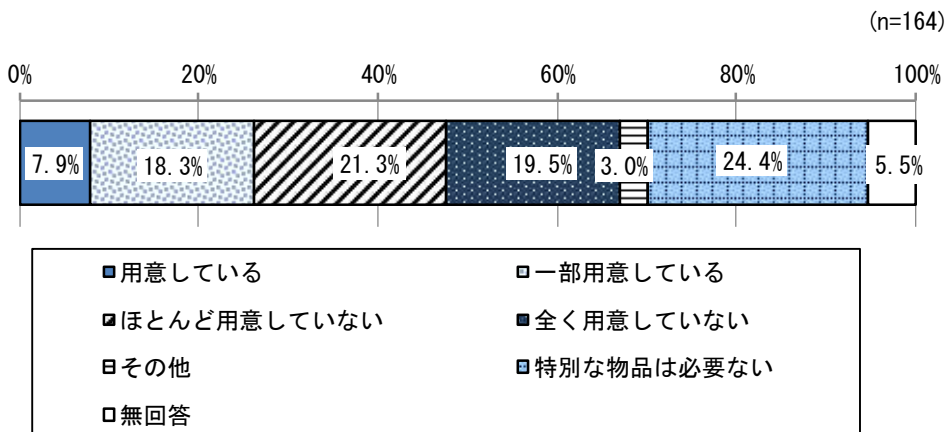
(3) 災害時の避難所生活について

災害時に避難所生活を送れるかについては、「自力で避難できる」が42.7%と最も高く、「一般的な車での送迎」が39.6%、「付き添いがあれば避難できる」が36.0%などとなっています。



(4) 避難所生活を送るための必要な物品について

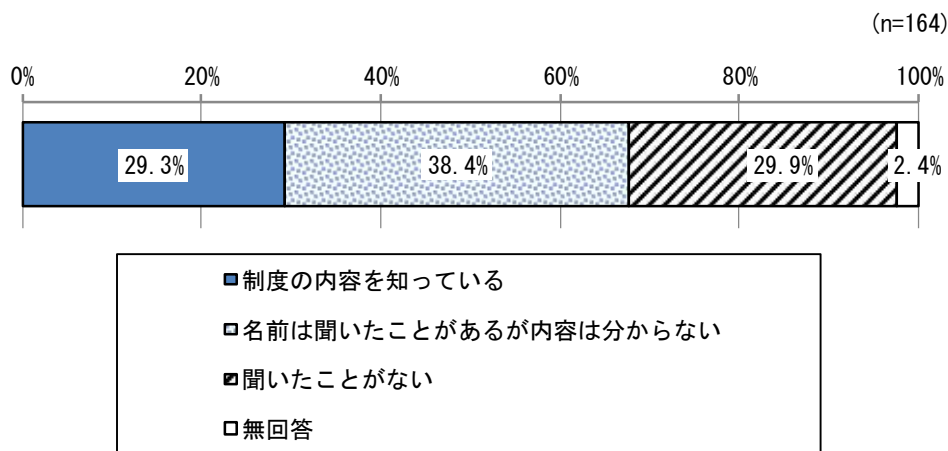
避難所生活を送るための必要な物品については、「用意している」が7.9%、「一部用意している」が18.3%、「ほとんど用意していない」が21.3%となっています。



9. 権利擁護について

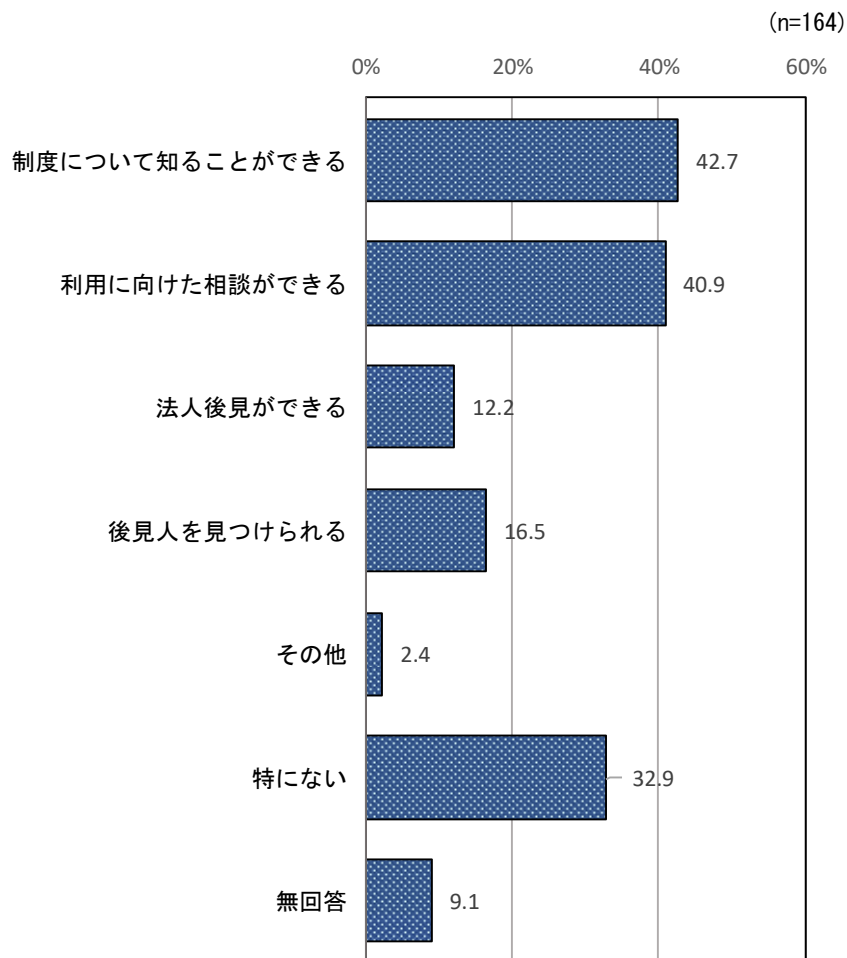
(1) 成年後見制度について

成年後見制度については、「制度の内容を知っている」が29.3%、「名前は聞いたことが工夫すれば可能である」が38.4%、「聞いたことがない」が29.9%などとなっています。



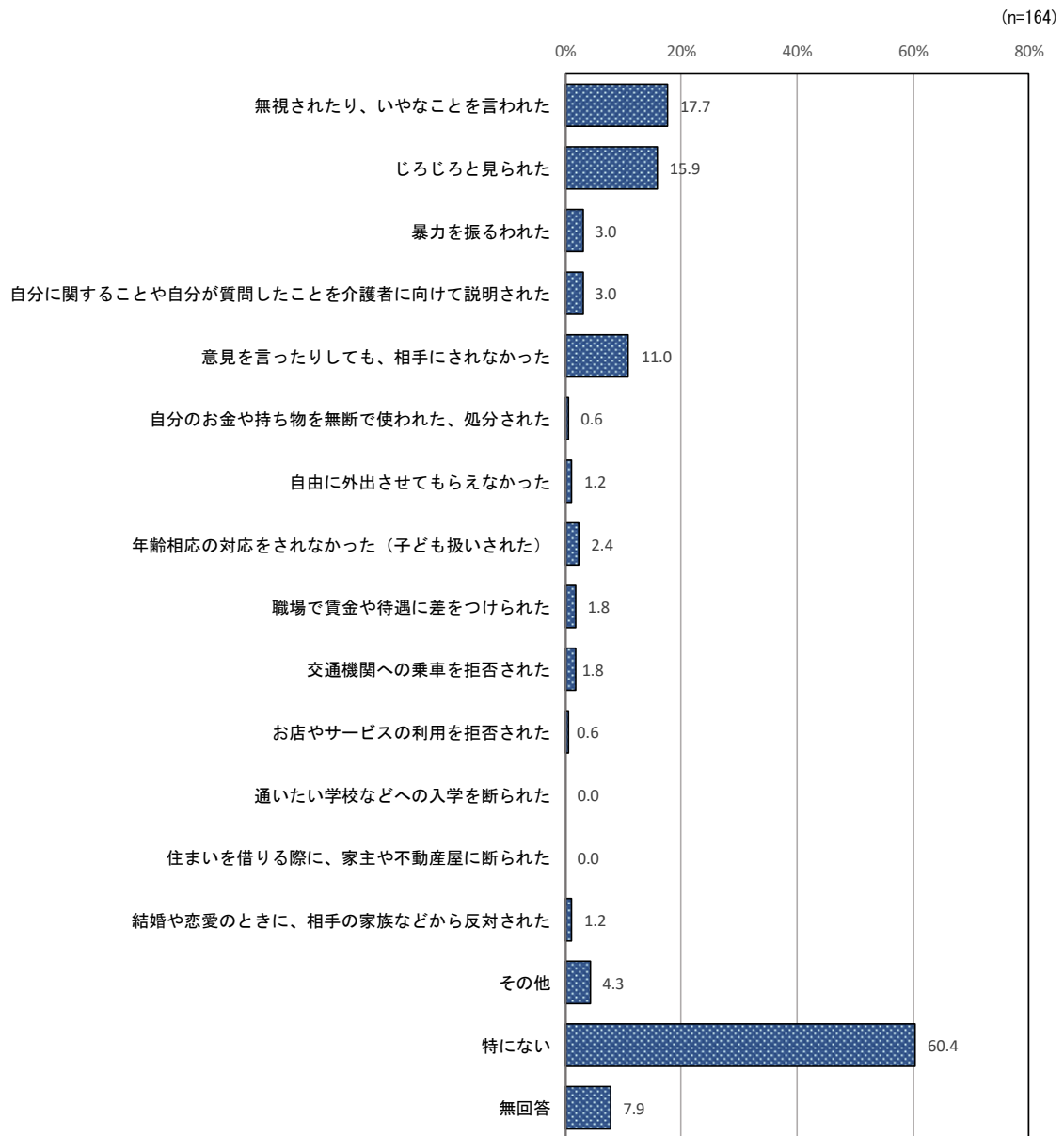
(2) 「あしがら成年後見センター」でできると良いことについて

「あしがら成年後見センター」については、「制度について知ることができる」が42.7%、「利用に向けた相談ができる」が40.9%などとなっています。



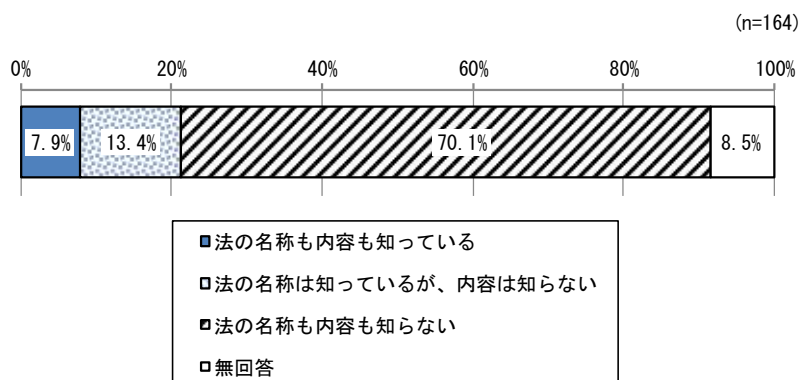
(3) 障がい者を理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたことについて

障がい者を理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたことについて、「無視されたり、いやなことを言われた」が17.7%、「じろじろと見られた」が15.9%などとなっています。



(4) 「障がい者差別解消法」について

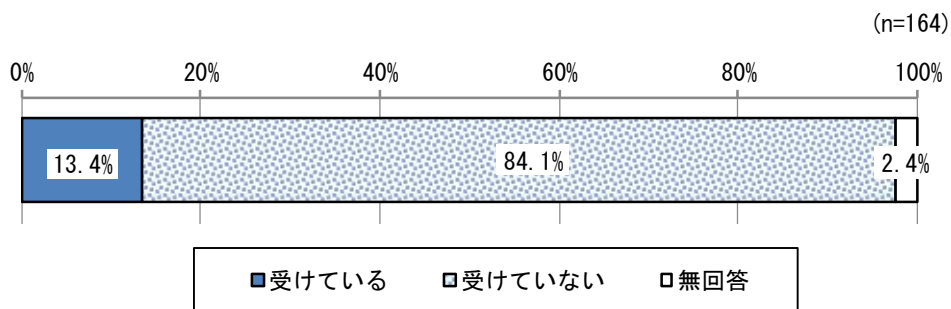
「障がい者差別解消法」について、「法の名称も内容も知らない」が70.1%、「法の名称は知っているが、内容は知らない」が13.4%などとなっています。



10. 医療について

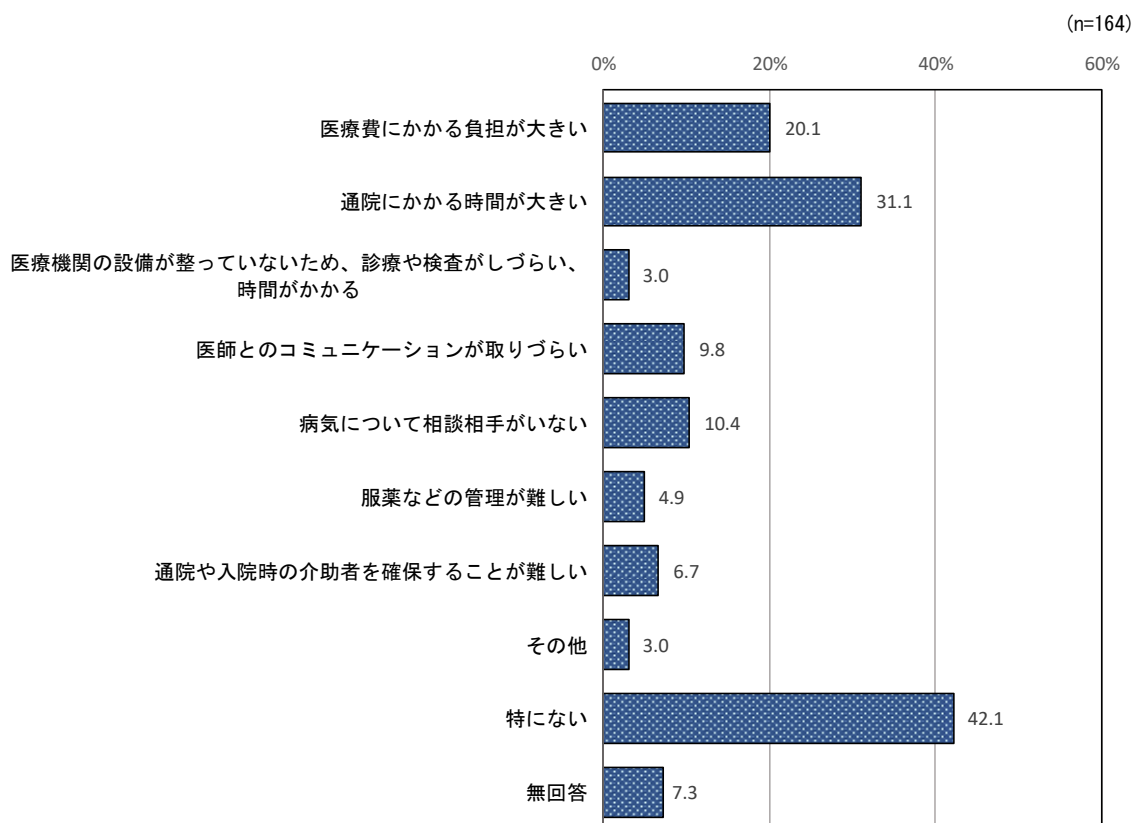
(1) 成年後見制度について

医療ケアについては、「受けている」が13.4%、「受けていない」が84.1%などとなっています。



(2) 医療について困っていることについて

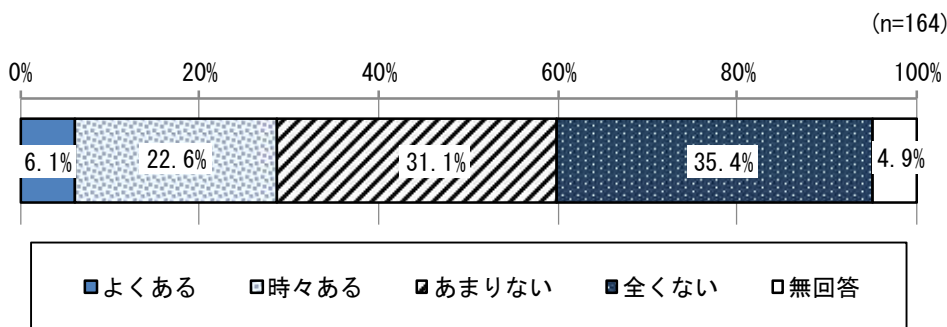
医療ケアについては、「通院にかかる時間が大きい」が31.1%、「医療費にかかる負担が大きい」が20.1%などとなっています。



11. 暮らしやすさや将来の生活について

(1-1) 家族や介護者など以外の人からの手助け

家族や介護者など以外の人からの手助けについては、「全くない」の35.4%と、「あまりない」の31.1%を合わせた66.5%が手助けしてもらえていないと回答しています。一方で、「よくある」の6.1%、「時々ある」の22.6%を合わせた28.7%が手助けしてもらえていると回答しています。



(1-2) 家族や介護者など以外の人からの手助け（自由記述）

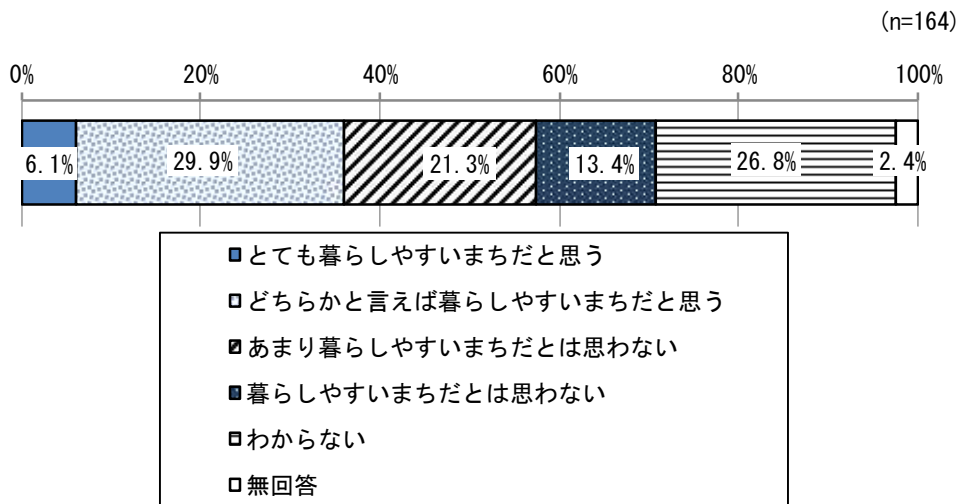
家族や介護者など以外の人からの手助けは以下の通りです。

- ・一寸体調が悪い時、心配して車で病院へ連れて行ってくれた。ゴミを出す時、手伝ってくれた。キャップを開けてくれた。一寸とした事にもありがたく感じますね。
- ・車で送ってもらった。
- ・体調が悪かったとき、見守ってくれた。
- ・土・日は必ず長男が訪ねてくる。隣の方は毎日声をかけて下さっている。
- ・街なかで不自由な姿を見ると、援助してくれる人が多く、親切にしてくれます。
- ・外出先でころんでしまい、病院に近くの人に連れて行ってもらった。
- ・病院で席を譲ってもらった。
- ・車椅子移動の際、ドアの開閉をしてもらった。
- ・外出時の際の声掛け。
- ・通所者のはげましで明るい一日が過ごす事ができた。
- ・4～5年前に散歩に一人で出かけ倒れてしまい、顔面から血が出て、通りかかった人に妻を呼んでもらいました。今はコロナで外出はあまりしません。
- ・右半身マヒで、書類の記入を手伝ってくれている。
- ・話を聞いてもらった。
- ・耳鼻科に行った時、車イスから乗用車に移る時に知らない人に手伝ってもらった。
- ・時々、席を優先して譲って頂いたこと！
- ・家の掃除、家のまわりの草刈り、植木の裁断、せん定。
- ・転とうした時、介助してもらった（田んぼに落ちたこともあり、助けてもらった）。
- ・役場やクリニックでスタッフの人から配慮してもらい助かった（気持ち的にいつも緊張しているが、気を楽にすることができた）。
- ・道案内
- ・駅で怪我をした際、気軽に声をかけて、手を貸してもらって駅員を呼んでもらった。
- ・同じ所で働く職員さんに、嫌味を理不尽に言う職員さんに困っていることを相談したところ、代わりに上司に報告して下さったの助かりました。自分自身では言いづらかったので助かりました。
- ・近所の人に、ころんだ時助けてもらった。
- ・お店の人がすべてジェスチャーで聞いてくれて、聴こえない身としてありがたかった（たこやき屋さんで、からしマヨか普通のマヨか、カードか、トッピングはどうするか、たくさん聞かれて・・・感じの良い女の子が店員さんで、指さしで本当に助かった）。
- ・仕事中に発作をした時。
- ・電車に乗っていた時、心配してくれ、声をかけてもらった。

- ・足の爪を切ってもらった。電球の取り換え。リハビリ病院への送迎サービス。高次脳なので昔の場所に連れて出してもらい、回復につとめた。
- ・近所の人があいさつをすると会話が生まれ、話し相手になってくれた。
- ・学校生活の中で介助員の方々にはとても助けて頂いていると思うが、実際見る事はほぼないので、話を聞いてそう思っています。
- ・車椅子への移動がうまくできなかった時に、近所の方、民生委員の方が起こしに来て下さった（5回位）。
- ・車に乗る時
- ・仕事のことで助けてもらう。
- ・デイサービスに行く時、車までだっこしてつれて行ってもらいます（週2回）。
- ・家の周りの草むしり等。
- ・車椅子での応援
- ・杖や落とし物を拾って下さった事。

(2-1) 中井町での暮らしについて

中井町について、「とても暮らしやすいまちだと思う」の6.1%、「どちらかと言えば暮らしやすいまちだと思う」の29.9%を合わせた36%が暮らしやすいと回答しています。一方で、「あまり暮らしやすいまちだとは思わない」の21.3%、「暮らしやすいまちだとは思わない」の13.4%を合わせた34.7%が暮らしやすいとは思わないと回答しています。



(2-2) 中井町の暮らしやすさについての理由

主な意見を掲載しています。

【とても暮らしやすいまちだと思う】

- ・手帳や年金など、制度が活用できる。
- ・人と人のコミュニケーションがあつたかと感じます。
- ・町の担当の方は皆、親切だと思う。
- ・社協送迎サービス、オンデマンドバスがあり、買い物が便利なので助かります。
- ・自給自足で自然と一緒に生活できる環境、かなりできる町であるから。
- ・親身になり、何度も話を聞いてくれ、支えてくれた（福祉課、健康課の方）。情報もくれ、サービスの場所も色々探してくれた。今があるのはこの方たちのおかげです。

【どちらかと言えば暮らしやすいまちだと思う】

- ・家と家の間隔があり、プライベートがたもてる。
- ・車がないと不便なところですが、オンデマンドバスなどあり助かります。もっと近くにスーパーがあると良いです。
- ・今は車を運転しているが、今後免許返納した際に、暮らしにくいと感じるかもしれない。買物へ一緒に行ってくれる方がよい、頼んで買ってきてもらうより。
- ・ケアマネージャーなどの対応が良いので。

- ・通院時における交通費の支給（タクシー代・燃料費）以外の内容はまあまあ充実していると思いました。
- ・相談にいていねいに対応してくれる。
- ・福祉がある程度充実しているから。
- ・以前はタクシー券は発行されない市町村にいたが、中井に来てからタクシー券を発行され、私の場合は助かっている。日によって公共の交通（電車・バスなど）が恐怖で乗れないことがあり（人が怖い）（発作がでしまう）1対1で乗れるタクシーが助かることがあるので助かっている。
- ・通院が大磯でタクシー券をいただいています。大変助かっています。有難うございます。地区の民生委員の方が安否確認とかご機嫌伺いに時々訪問して下さいます。
- ・優しい人が多い。
- ・人口が少ないせいか、要約筆記を利用したいと申し出た時、町にはできる人がいなくて、県に派遣依頼をしないといけない。学校説明会で利用したが、「先生に通訳してもらったらどうか」といった話になり、サービスは受けませんでした。聴覚障害の方が気軽に利用できる公的サービスがないと感じました。他は不満はありません。
- ・他の市町村で暮らした事はないので比べられない。でも中井町は暮らしてそのような事で困った事はないので、暮らしやすいのではないかなと思う。
- ・役場の人、福祉の人がやさしい。
- ・公共施設等にバリアフリーに取り組んで頂いており、生活し易い町づくりになって来て居ると思います。
- ・医療費が補助されている事で、とても助かっています。
- ・やさしい人が多い。

【あまり暮らしやすいまちだとは思わない】

- ・情報が少ない。高齢者も多い割には不便な面が多い気がします（買い物や移動手段など）。
- ・障がい者手帳を持っているが、生活相談を一度も受けたことがない。こちらから動かないと駄目のようです。
- ・主人が免許の返納をした時に、買い物をどこでどのようにできるか。オンデマンドバスの利用やネットスーパーを利用できるようになるのか。
- ・交通が不便。坂道が多い。
- ・バリアフリーの場所が少ない（特に道路等）。
- ・車に乗らない上、買物、病院に行けない。
- ・該当する障害の医療病院がない or 遠い。
- ・病院が少なく、通うのが大変。
- ・地形が良くないため便利性に欠ける。町全体が発展してくれたらと思う。町の財政も良くなると思うし知恵出して戸村さん頑張ってもらわないと、人口減少がつづく。
- ・町内で歩いて生活をするですれば、時間がかかり、買い物も思うようにはいかない。歩けなかった時はもっとつらい。町内を利用するバスも交通系 IC カードの利用が出来ず、割引もきかなかった。中村地区はどうして役場で乗り換えが必要なのですか？井ノ口は二宮一秦野なのに不便です。夜間はタクシーしかない。
- ・相談をしても規則を前面に出され、事務的な対応をされて、相談内容について相談者に寄り添った対応をしているようには見えないと感じる事がある。
- ・バスの始発（二宮駅行き）の時間を 30 分繰り上げてほしいです。路線バスも 30 分繰り下げてほしいです。バスの運賃をあと 20 円下げてほしいです。バイクの音がうるさいです。
- ・病院や買い物へ行くのにとっても不便。手当や免除などが無い。せまい町だから情報がもれやすい。駅まで遠い、バスがない。
- ・福祉サービスの種類や内容等、どれにあてはまるかなど、説明してくれる所がない。自分で動かないとサービスが受けられない。教えてもらえない。
- ・福祉サービスの事業所が少ないし近くにない。
- ・中村地区は介護用品、食料品等を購入する店舗がほとんどないので不便です。今は車移動できているので大丈夫ですが、高齢になり免許返納後はすぐに・・・という時に困ると思います。
- ・様々な面でアクセスが悪い。
- ・他の自治体に比べ、本人の負担費用が多い。他の町では無料である。
- ・交通の便の悪さ。
- ・町の公共施設について、障害者の立場になって考えてくれない。例、学校段差があり、車椅子では入れない。海の風、階段に手すりがなく上へ上がれない。雑草防止のため、採石を敷いているため、小さい子供、老人、車椅子が動けない。お金をかけているのだから障害者の立場になって考えてほしい。

【暮らしやすい町だとは思わない】

- ・手続きも不便。手帳などで利用できる施設も少ない。

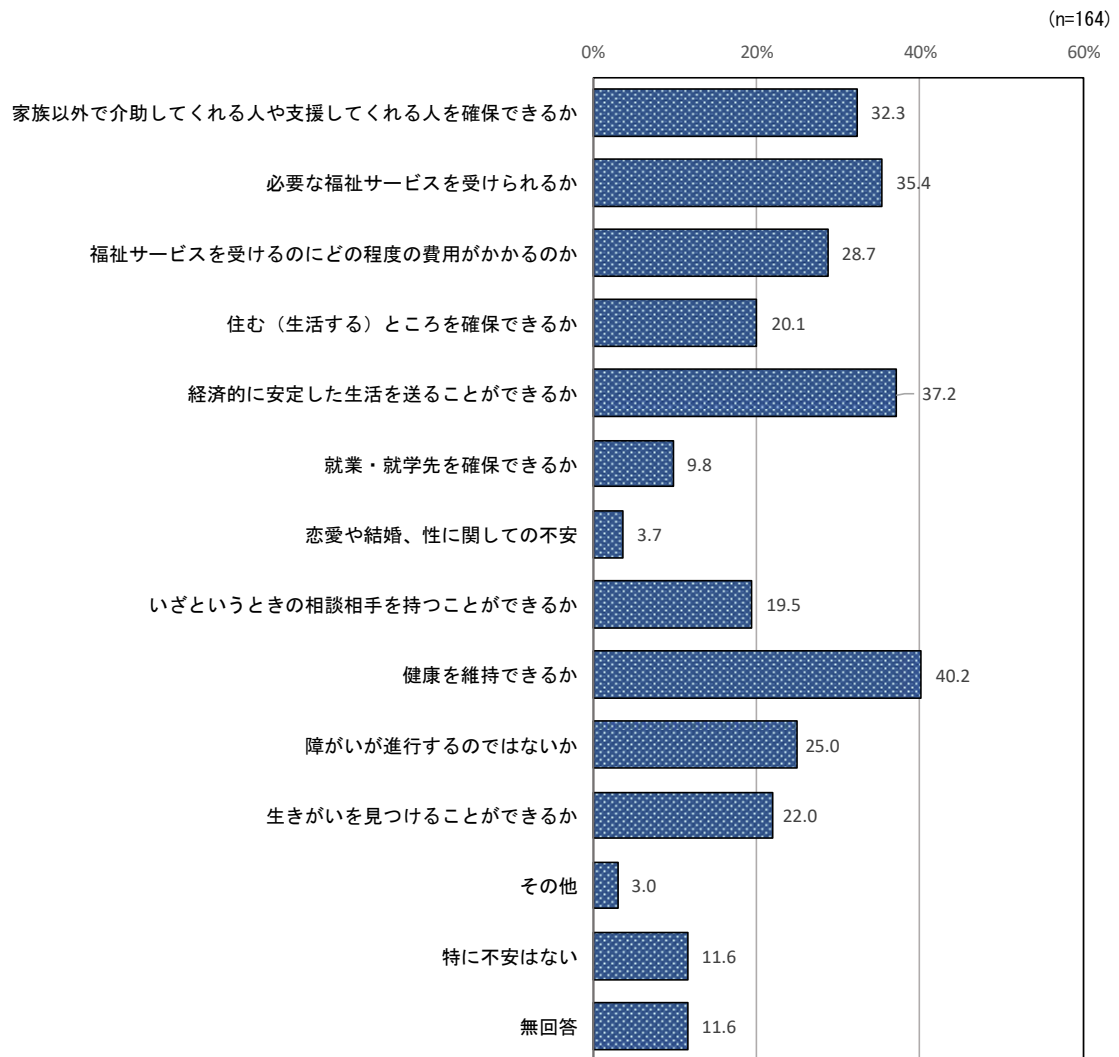
- ・ 障害者が利用出来るまちづくりになっていない（歩道等で車イスが利用できる構造になっていない）。障害者が利用できる施設がない。相談する相手が行政職員にいない。その機会も設けていない。
- ・ 学校でのいじめもあったし、法律ができる前は特に親からも隠されて生活をする事を求められた。障害のある子供を産んだ事を親がまず認める事ができなかった。
- ・ 高齢障害者に対してサービスの内容等の情報が届いていない。障害者が受けて当然のサービスを含め、家族が理解していない（聴覚障害者が手話通訳者を利用できていない）。
- ・ 病院少ない。
- ・ 中井町にはグループホームなど利用出来る所がない。
- ・ 生活出来る店などない。通院出来る病院がない。車がないと行きたい所に行けない。こんな町では障害者や高齢者は生きていけない。
- ・ トイレがあまりない。よその町みたいな身障者のトイレもないから（バス停）。
- ・ 顔見知りが多い。単身住宅が無い（家賃補助可）。
- ・ 公共施設に障がい者トイレが少ない所あり。公共施設に障がい者トイレがない所がある。障がい者にやさしくない町である。

【わからない】

- ・ 今の生活が暮らしにくいと思っていない。
- ・ 他市町村の実情を知らないの、暮らしやすいのか否かわかりません。
- ・ 障害といっても色々あり、私の障害に対してのサポートは感じない。町としての障害者の理解をすすめるよう、啓発を図る運動は実施されていると思いますが、具体的にこちらに伝わってこない。
- ・ 介護者の必要もなく生活ができていたため。
- ・ 他の市町村で暮らした事がないので、比較できない為。
- ・ 福祉サービスを受けたり、利用したりしていないので。
- ・ 私はうつ病なのですが、ほとんど日常に支障がないので、特に暮らしやすいかどうか分かりません。
- ・ 外に出たがらない為。

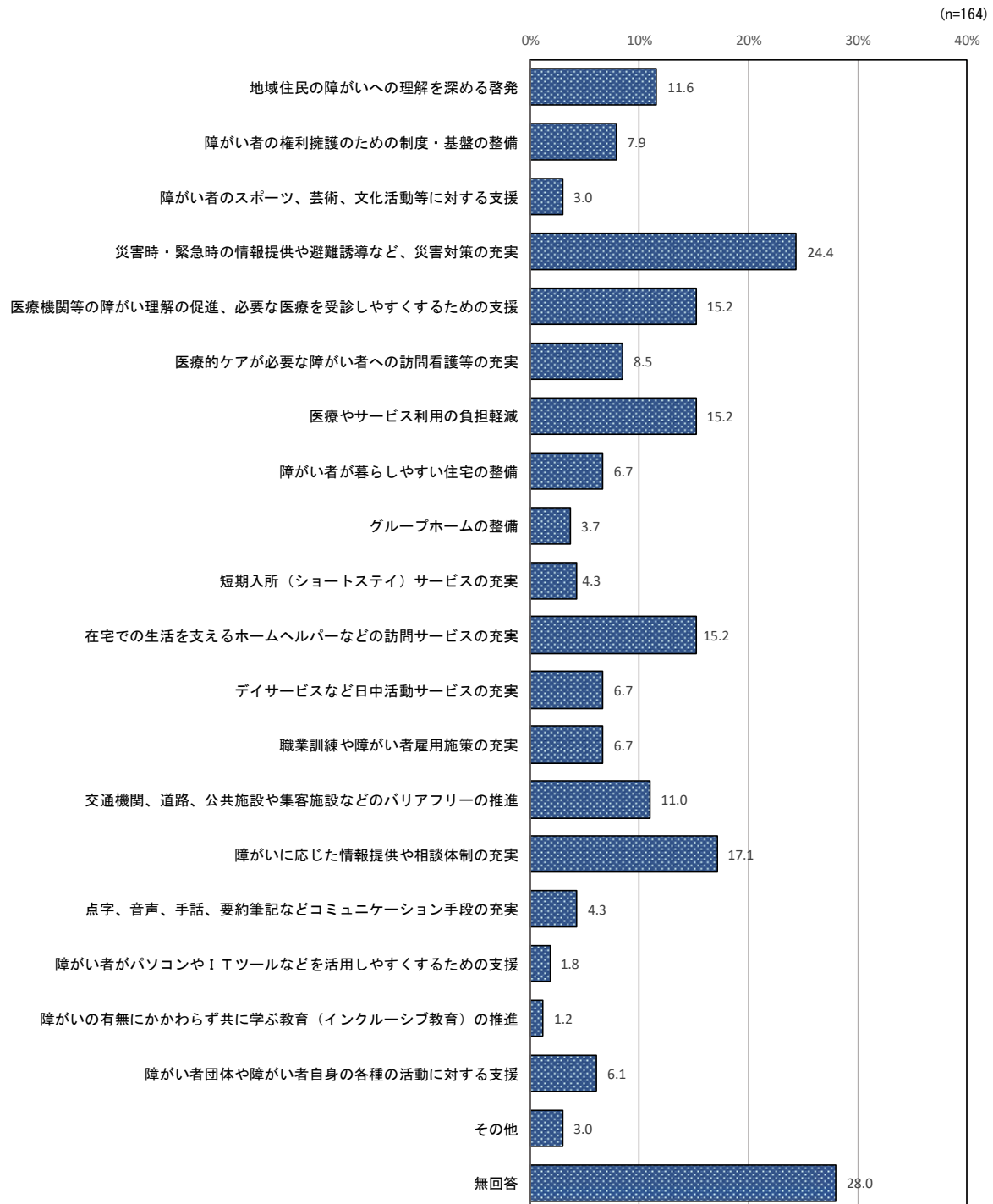
(3) 将来に関して不安に思っていることについて

将来に関して不安に思っていることについて、「健康を維持できるか」が40.2%、「経済的に安定した生活を送ることができるか」が37.2%などとなっています。



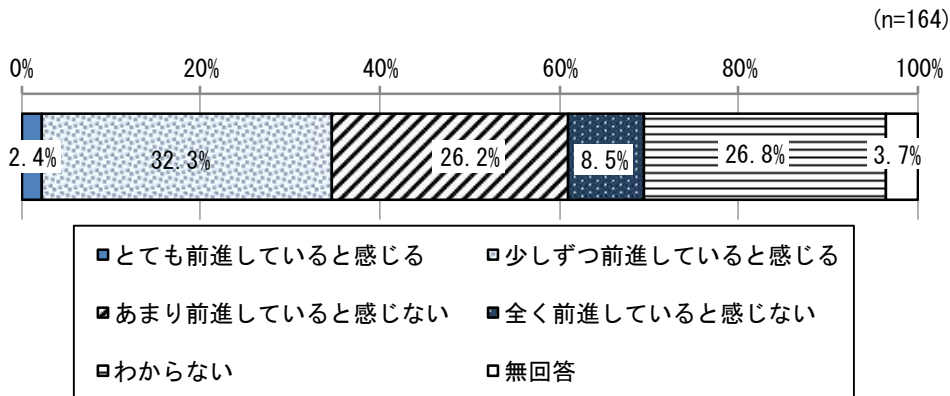
(4) 障がい者が地域の中で自分らしく、安心して暮らしていくための取組について

障がい者が地域の中で自分らしく、安心して暮らしていくために、進めるべき取組みについて、「災害時・緊急時の情報提供や避難誘導など、災害対策の充実」が24.4%、「障がいに応じた情報提供や相談体制の充実」が17.1%などとなっています。



(5) 地域共生社会について

世の中が地域共生社会に向けて前進していると感じるか否かについて、「とても前進していると感じる」の2.4%と「少しずつ前進していると感じる」の32.3%を合わせた34.7%が前進していると回答しています。一方で、「あまり前進していると感じない」の26.2%と「全く前進していると感じない」の8.5%を合わせた34.7%となっています。



12. その他の自由意見

(1) 障害福祉サービスや行政の取組みについてのご意見など

主な意見を掲載しています。

- ・ 中井町は老人が多いと思います。でも福祉の方々は良くやってくれます。一人暮らしの私ですが、不自由を感じる事はないですね。皆さん親切で良く声をかけてくれます。で、安心して生活をしています。今後供よろしく願います。
- ・ はつらつ教室に参加していたのですが、なくなっちゃったので、また再開して欲しい。障がい者用の整備された、安価な住宅かアパートみたいな物を作って欲しいです。
- ・ こちらから相談するのを待っているのではなく、行政の方からもう少し能動的に対応してほしい。
- ・ いずれこの年なので福祉のお世話になる時がくると思います。その時安心して生活したいと思います。よろしく願います。
- ・ 障がいのある人の移手段について補助が欲しい（バス・ガソリン・自動車購入などの補助）。
- ・ 障がいに応じた情報提供がもっと充実してほしい。
- ・ 障害福祉への手続の指導だけではなく、専門家による相談窓口を常設が必要かと思ます。例えば介助者が高齢でもあり、一人身になった時の相談や介助者が死亡した時とその後の生活再建等々不安に対しての相談等々。
- ・ 今現在の障がいで受けられるサービスで、申請していないサービスの告知。
- ・ 今後もこのようなアンケートを続けてください。少しでも良くなることを願っています。
- ・ アンケート用紙が厚紙で封筒に入れるのが大変です。お金もかかるでしょう。うすい紙にして下さい。
- ・ 具合が悪くても手続きに日があるので、オンライン申請ができるようになると良い。
- ・ 通院や買い物（食料など）に使用するタクシーチケットやガソリン代（燃料費）が過去にくらべて下がっていると思う。特にタクシーチケットは1回の通院で1年分がなくなってしまう。障害者の特典制度をたずねなくても教えてほしい。
- ・ 難聴者の割合は増加している。要約筆記者の講座登録推進を希望する。・ 町として手話通訳者の育成と手話の普及を推進していくことを希望する。上記2つの事柄は福祉課が積極的に実施すべき内容で、社協はその補助をしていくのが本筋である。
- ・ 前向きな取り組み、感謝します。
- ・ 気軽に話せる人がほしい。気軽にくつろげる場所がほしい。
- ・ 高齢化の方が大問題な気がするので特に何も。保健士さんが保健センター内で「いつでも相談してね」って言って下さったのはうれしかったです。あの時はありがとうございました。精神3級は殆どメリットが無いので、家の中にずっと居ます。たまーに一人になりたいけど、病院に言っても無理だろうし、近場にホテルでもあれば良いのに、思っています。
- ・ 中井町は坂道が多く、買物袋を持って帰るのはとても大変です。①オンデマンドバスの定時循環運行。②買入商品の配達の手配。

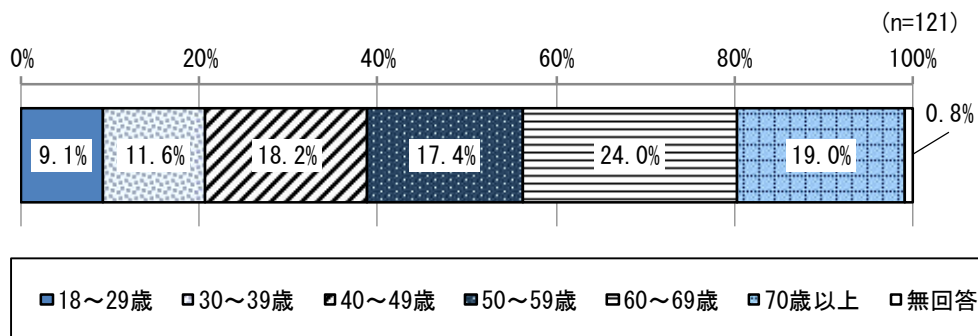
- ・障害者等級が1級から3級に判断されるなか、ICDは体の中に植込みされたまま、医療費は健常者と同じ三割負担はいかがなものでしょうか。
- ・町の放送が何も聞こえないため、町で何がおきているかわからないので考えて欲しい。
- ・ふるさと納税は中井町に集まるようになれば、福祉も良くなると思う。町全体が良くなると思うよ。
- ・歩けなくなった場合の暮らしの手助け、町内の医療系や通所・就職する為の公共交通機関（バス）の充実（役場での乗り換えなし）にしてほしい。大変申し訳ありませんが、町内での仕事を希望していますが、バスの利用がしやすい所がほしいです。
- ・もっと障害者の気持ちをわかってもらいたい。社協のタクシー運賃を下げてもらいたい。10キロ以上1600円は高すぎるし、高速道路を使わないでほしい。普通の道路でも十分通院できるのに、わざわざ高い高速を使うのは、障害者や高齢者には負担が大きいと思いませんか？少し考えればわかる事だと思いますけど……。町長・議員の方たち、色々考えてください。回数券などを作り、使ったら1回分無料にするとか、定期券なども考えられます。
- ・現在の福祉サービスや制度が、利用者にとって利用しやすい内容になっているか、利用者の立場に立った検討（見直し）が必要ではないか？中井町は障がい福祉サービスの取り組みが弱いように思う。
- ・アンケート内容が難しいので、一人では回答できず、施設職員と相談しました。
- ・しらさぎサービスを利用していますが、花見や花菜ガーデンなど娯楽的な用事でも利用したい。月に何回かでも利用できる日があったらいいと思う。町の方で「この日は利用できますよ」連絡があればうれしいと思う。介助の車両がもう一台あれば、そういうことでも利用できるかなと思う。
- ・健常者と同じように日常生活が出来ているので、特にありません。
- ・家賃補助のある単身住宅が欲しい。
- ・このようなアンケート含め、現状を把握するために努力して下さっていることに感謝します。ありがたいという思いと共に、今後もより良い社会に向けて、いろいろな取り組みを期待しています。
- ・障害に関しての啓発活動。障害個々の特性に配慮した支援施策。
- ・親が死去した時には入所を考えています。この子が住みやすく過ごせると良いですが。
- ・サービス等受ける期間の再登録が短く、その都度福祉課まで出向くが、2年のものは5年、5年のものは10年とスパンを延ばせれば、体も楽になります。
- ・サービスを充実したい事はわかりますが、あまりにも設問数が多すぎるのでは！途中でやめました。封筒が小さすぎて、入れにくい！
- ・上から目線でなし、障がい者目線で物事を考えてほしい。
- ・公共施設に障がい者トイレを。また、増設をお願いします。障がい者はトイレに5分以上かかるから考えてほしい。中央公園に増設をしてほしい。
- ・障がい者に対する手厚い支援。
- ・数年前自家用車購入目的で県から借入れが出来る事を知り、町に申請しました。5町では今まで実績がないので申請出来ないと云われた。障害者に対し、県や町から数少ない補助制度がありますが、障がい者はほとんど知らない。ケアマネジャーさん等に連絡を取り、周知していただきたい。・防災訓練等、健常者対象に行なわれているが、障害者対象の訓練は何年間行われていない。

Ⅲ 障がい福祉計画アンケート調査B【対象：障がいのない住民】

1. 住まいや家族構成について

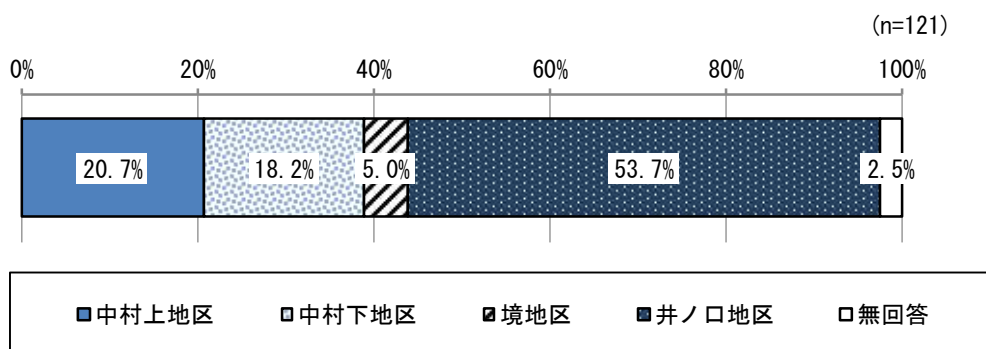
(1) 年齢

年齢については、「60～69歳」が24.0%、「70歳以上」が19.0%、「40～49歳」が17.4%などとなっており、高齢者が多くなっています。



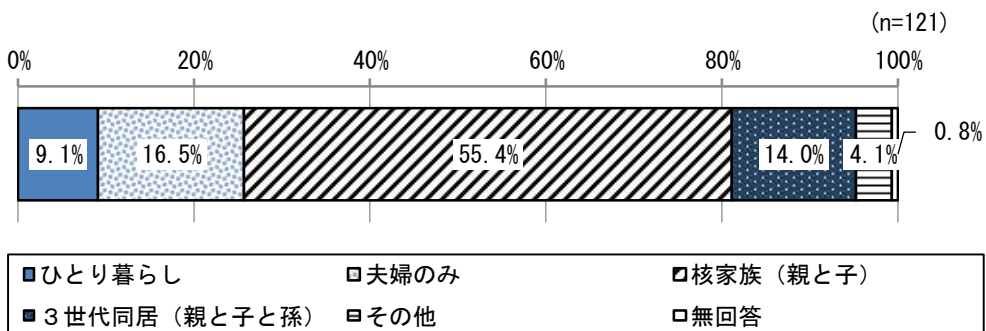
(2) 居住地

居住地については、「井ノ口地区」が53.7%、「中村上地区」が20.7%などとなっています。



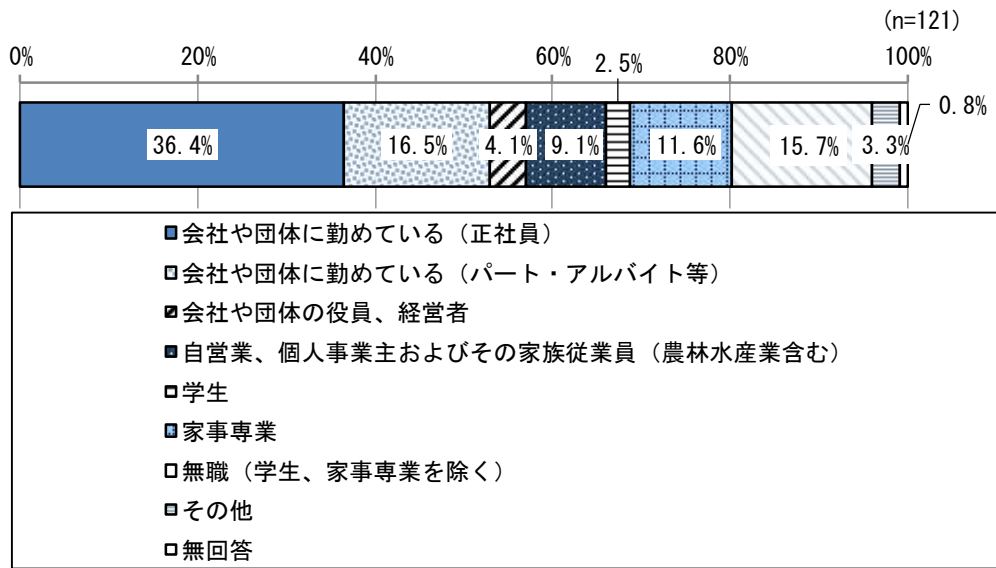
(3) 家族構成

居住地については、「核家族（親と子）」が55.4%、「夫婦のみ」が16.5%などとなっています。



(4) 職業

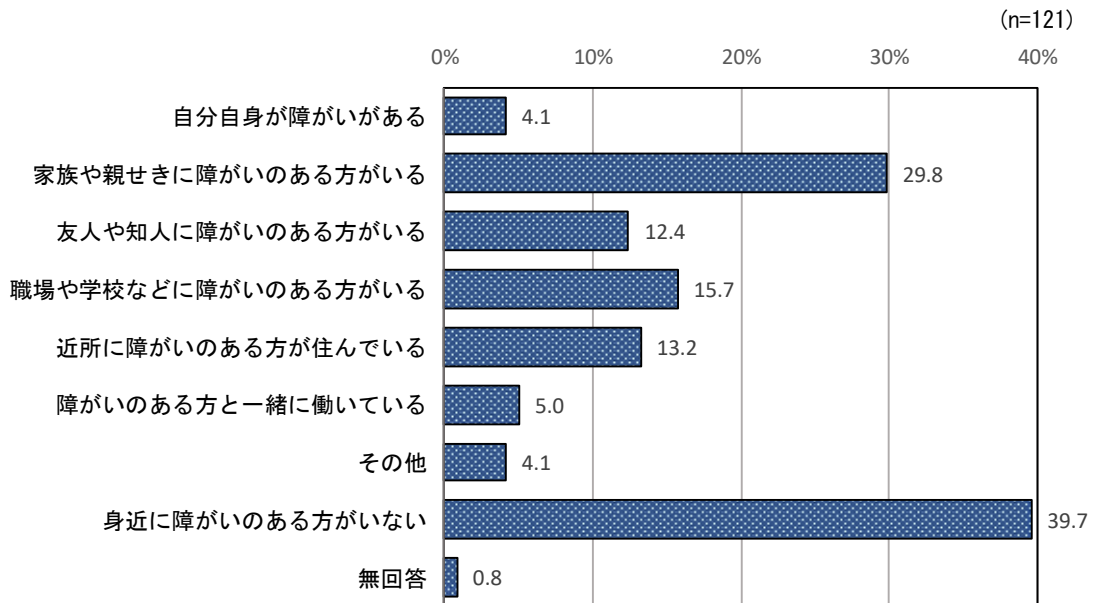
職業については、「会社や団体に勤めている（正社員）」が36.4%、「会社や団体に勤めている（パート・アルバイト）」が16.5%などとなっています。



2. 障がいのある方に対する理解について

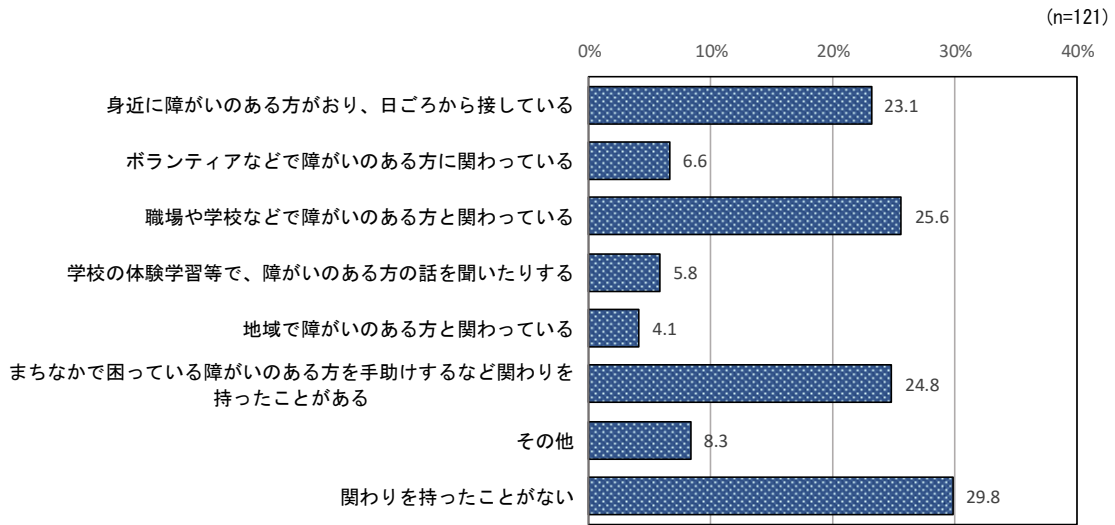
(1) 身近な障がいのある方

身近な障がいのある方の有無については、「身近に障がいのある方がいない」が39.7%、「家族や親せきに障がいのある方がいる」が29.8%などとなっています。



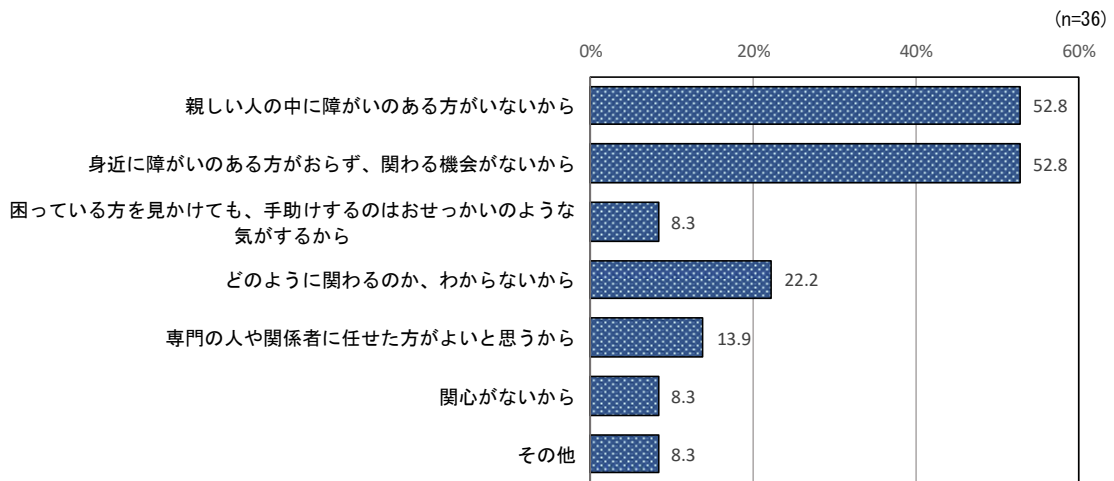
(2-1) 障がいのある方との関わり

障がいのある方との関わりについては、「関わりを持ったことがない」が29.8%と最も多く、「職場や学校などで障がいのある方と関わっている」が25.6%などとなっています。



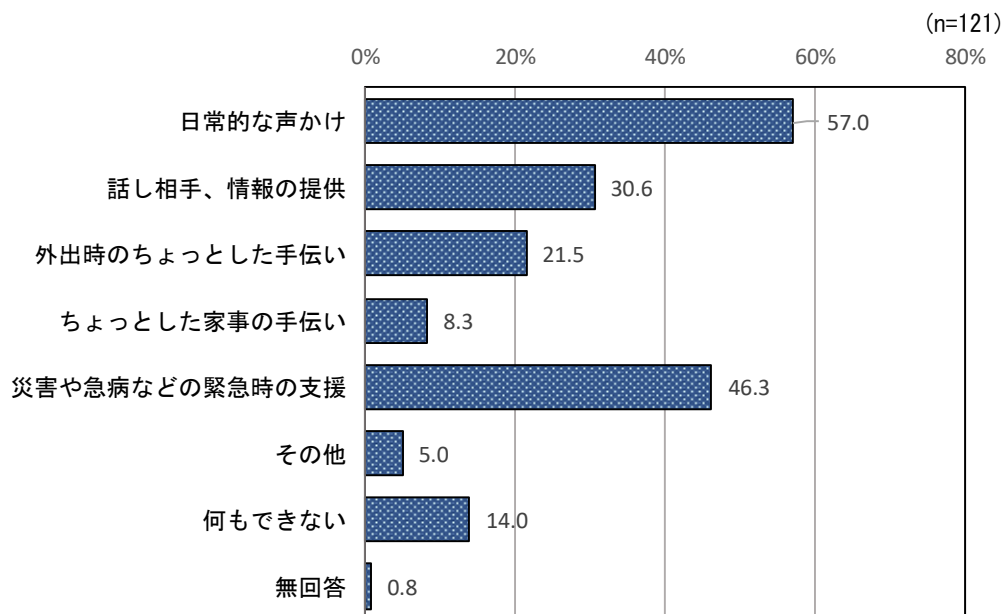
(2-2) 障がいのある方と関わりを持ったことがない理由

関わりを持ったことがない理由については、「身近に障がいのある方がいない」が39.7%、「家族や親せきに障がいのある方がいる」が29.8%などとなっています。



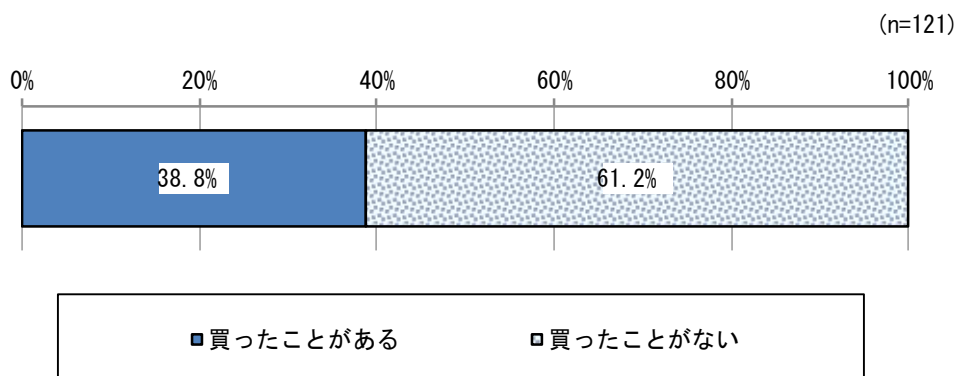
(3) 困っている障がいのある方にできることについて

困っている障がいのある方にできることについて、「日常的な声かけ」が57.0%が最も多く、「災害や急病などの緊急時の支援」が46.3%などとなっています。



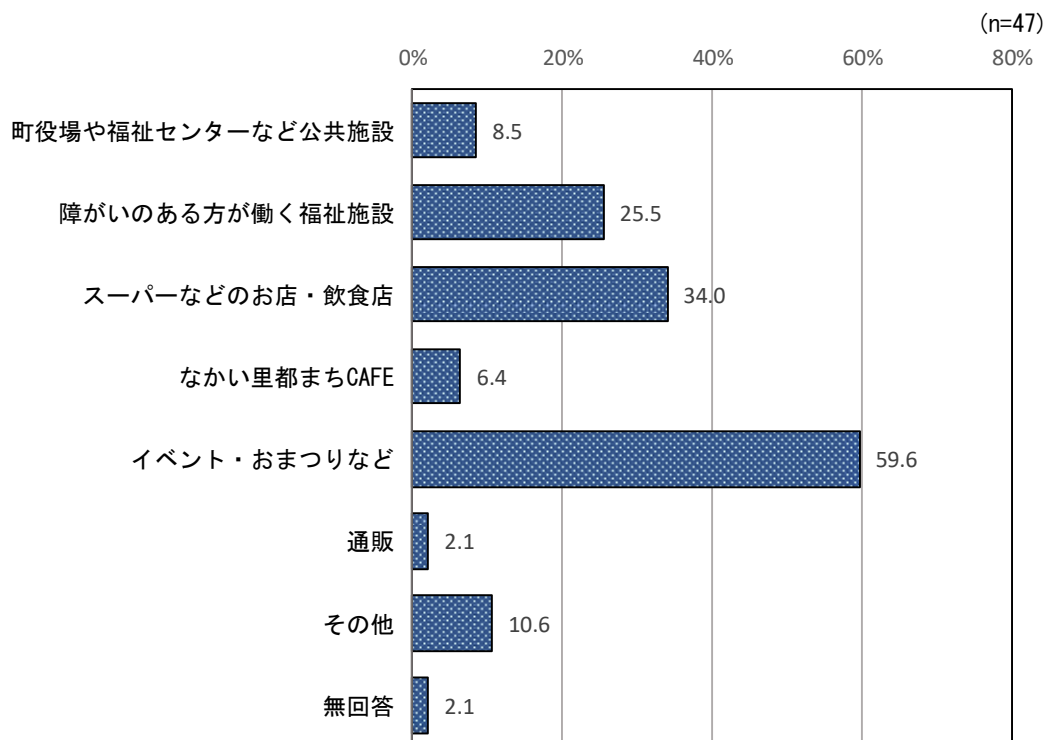
(4-1) 障がいのある方がつくった商品について

この3年間に障がいのある方がつくった商品を買ったことがあるか否かについて、「買ったことがある」が38.8%、「買ったことがない」が61.2%となっています。



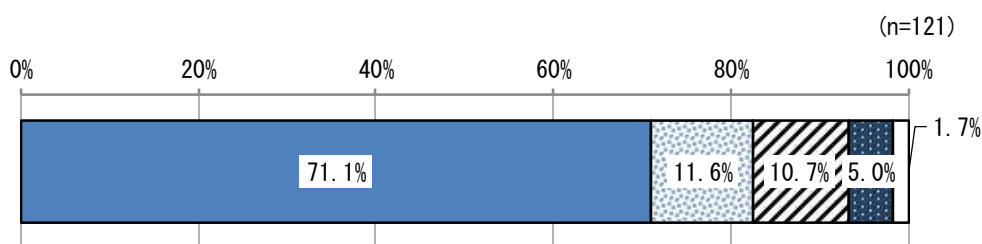
(4-2) 障がいのある方がつくった商品を買った場所について

障がいのある方がつくった商品を買った場所について、「イベント・おまつりなど」が59.6%と最も多く、「スーパーなどのお店・飲食店」が34.0%、「障がいのある方が働く福祉施設」が25.5%などとなっています。



(5) 災害時の障がいのある方への支援について

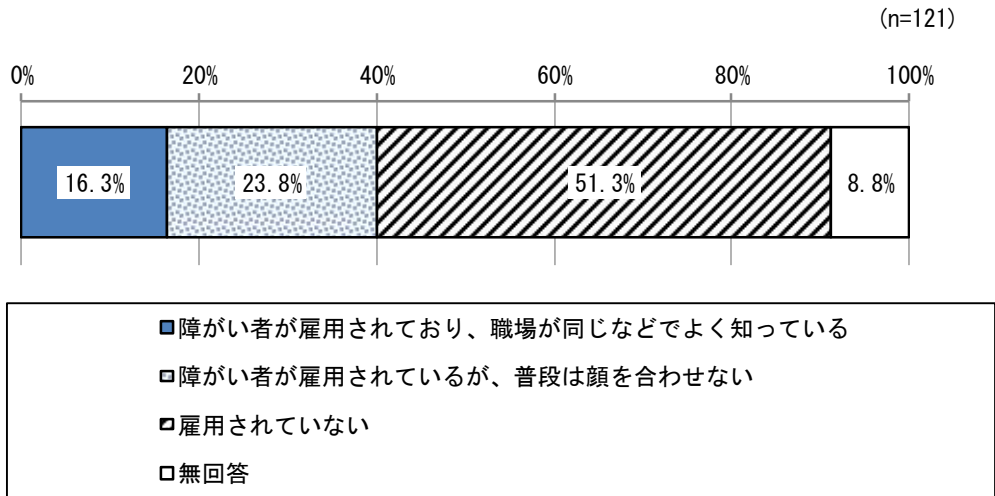
災害時の障がいのある方への支援（安否の声かけ、災害情報を伝える、避難誘導など）について、「できるだけ支援をしたいと思う」が71.1%、「自分には難しいと思う」が11.6%、「障がいのある方に限らず他人を支援することは難しいと思う」が10.7%などとなっています。



- できるだけ支援をしたいと思う
- 自分には難しいと思う
- ▨ 障がいのある方に限らず他人を支援することは難しいと思う
- その他
- 無回答

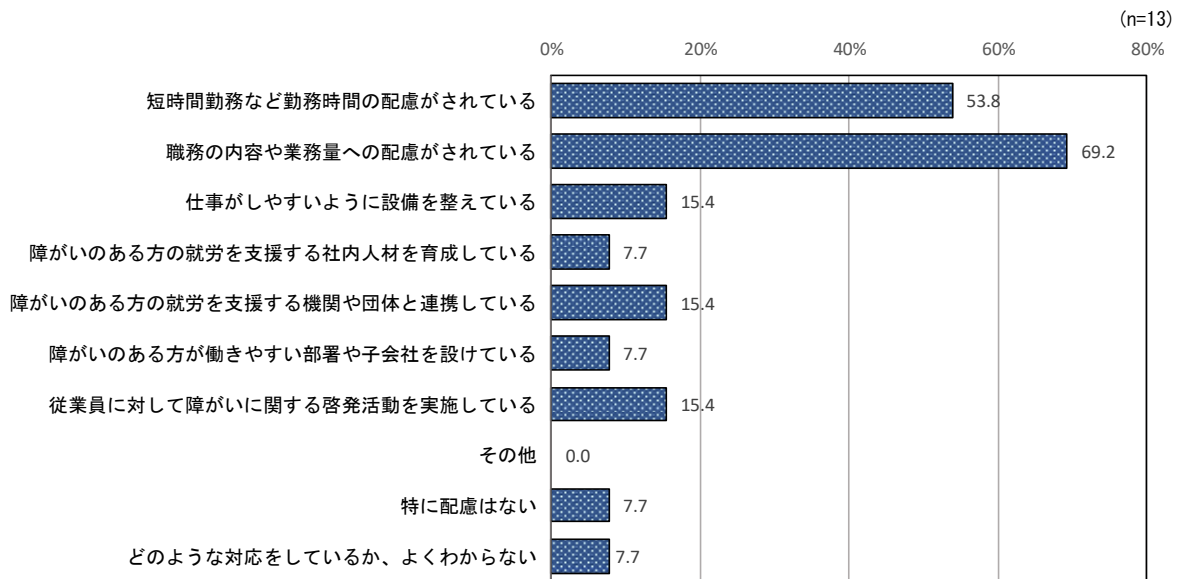
(6-1) 勤め先での障がいのある方の雇用状況について

勤め先での障がいのある方の雇用状況について、「雇用されていない」が51.3%と最も多く、「障がい者が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている」が16.3%、「障がい者が雇用されているが、普段は顔を合わせない」が23.8%、「障がい者が雇用されているが、普段は顔を合わせない」が23.8%などとなっています。



(6-2) 勤め先での「障がいのある方」への配慮・工夫について

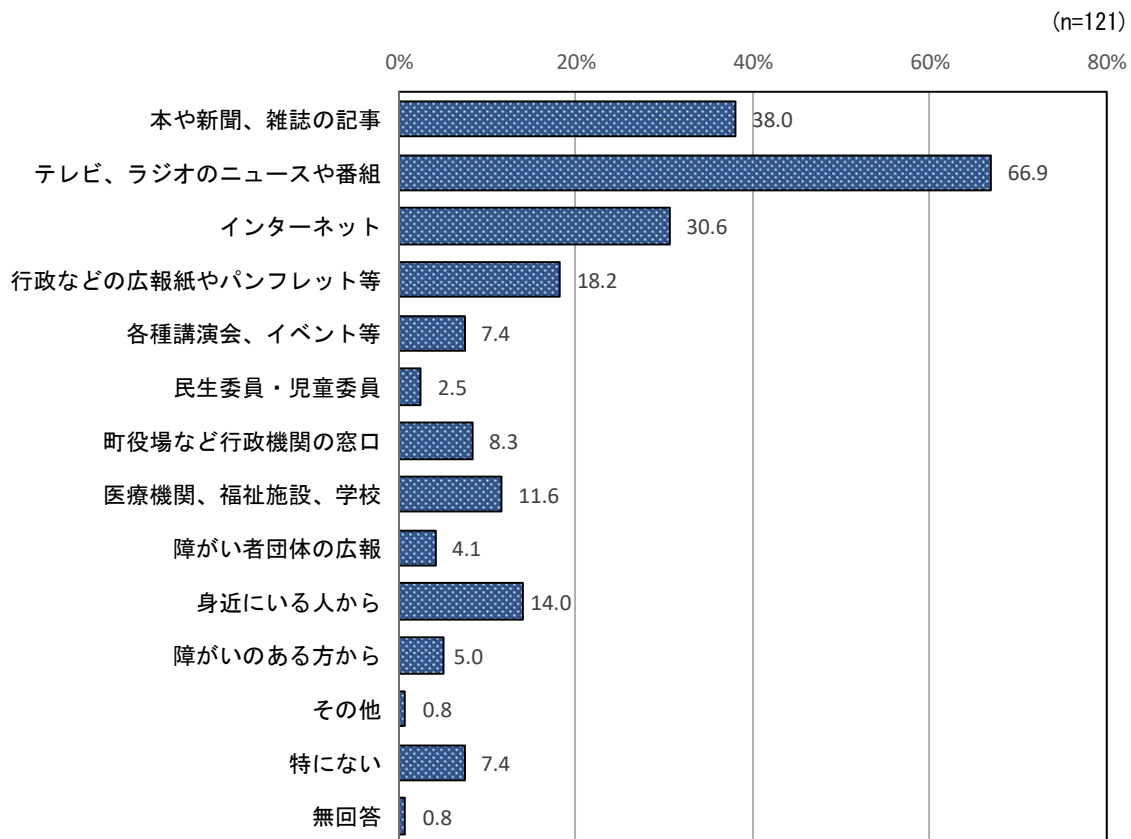
勤め先での「障がいのある方」への配慮・工夫について、「業務の内容や業務量への配慮がされている」が69.2%と最も多く、「短時間勤務など勤務時間の配慮がされている」が53.8%などとなっています。



3. 障がいや福祉に関することについて

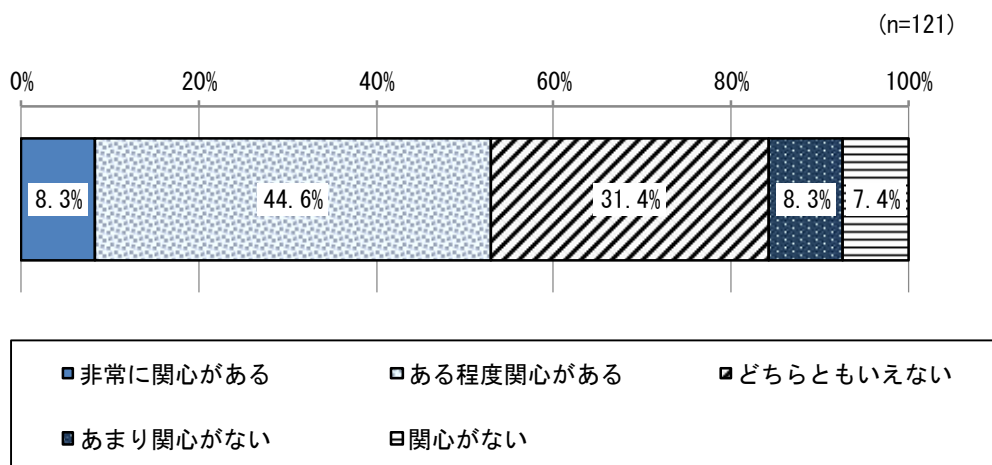
(1) 「障がい」、「障がい者福祉の制度」に関する情報について

「障がい」、「障がい者福祉の制度」に関する情報の普段の入手先について、「テレビ、ラジオのニュースや番組」が66.9%と最も多く、「本や新聞、雑誌の記事」が38.0%、「インターネット」が30.6%などとなっています。



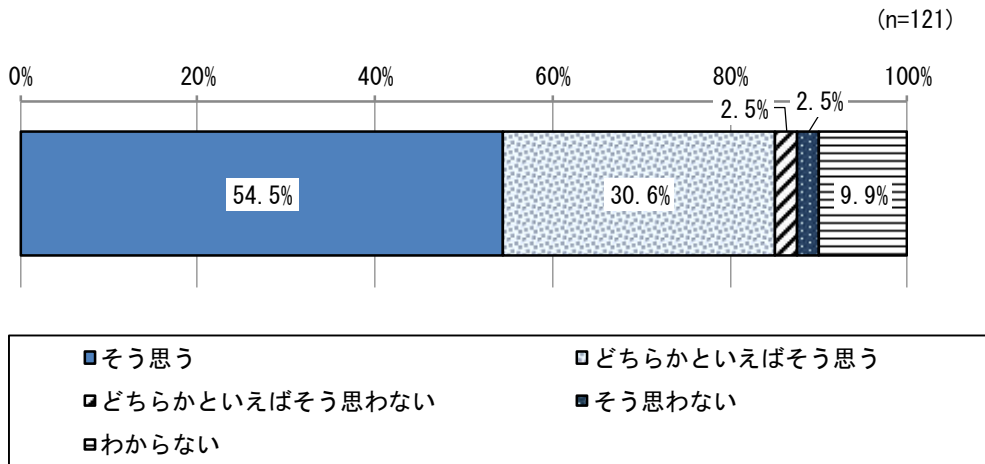
(2) 「障がいのある方」、「障がい者福祉」の関心について

「障がいのある方」のことや、「障がい者福祉」への関心について、「非常に関心がある」が8.3%、「ある程度関心がある」が44.6%、「どちらともいえない」が31.4%などとなっています。



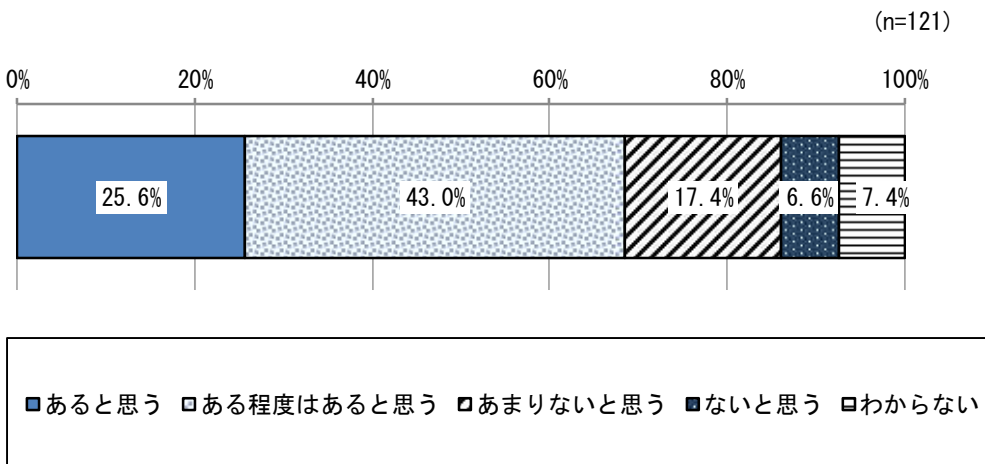
(3) 「地域共生社会」の考え方について

「地域共生社会」の考え方：「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、「そう思う」が54.5%、「どちらかといえばそう思う」が30.6%などとなっています。



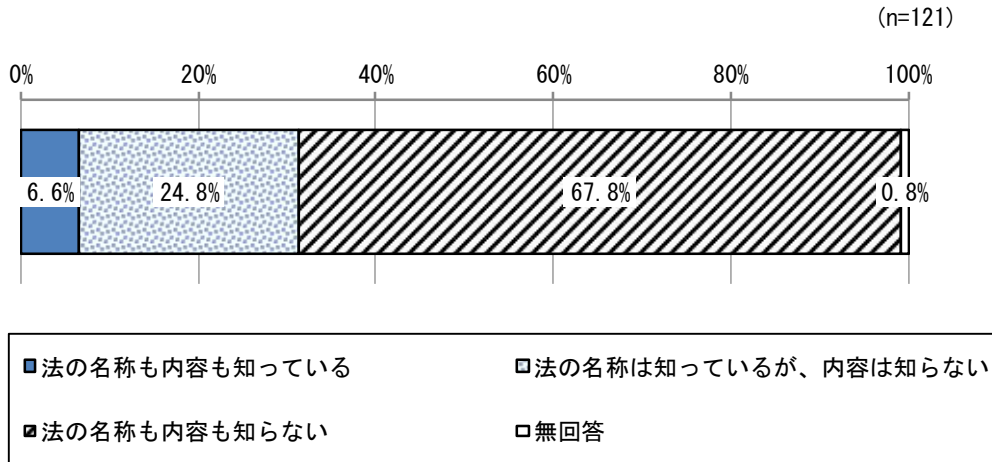
(4) 障がいを理由とする差別や偏見について

障がいを理由とする差別や偏見について、「あると思う」が25.6%、「ある程度はあると思う」が43.0%などとなっています。



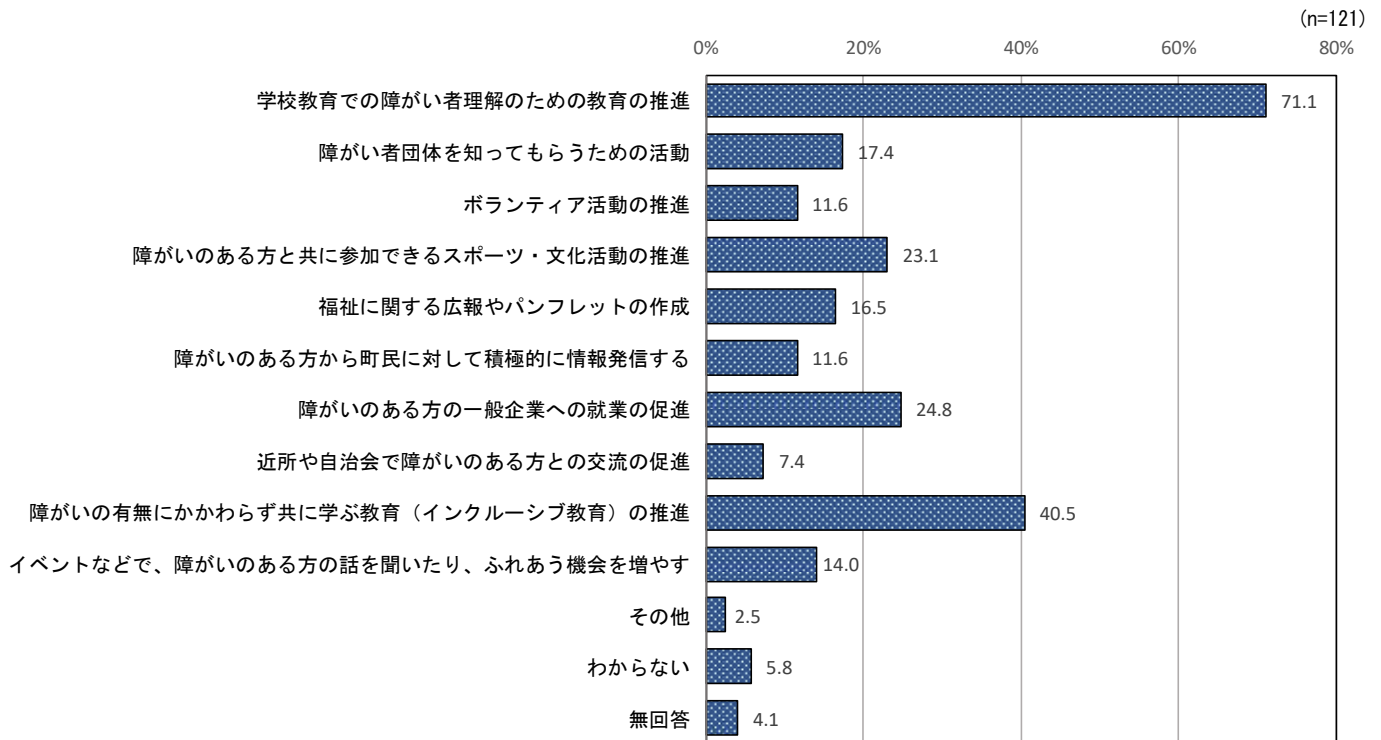
(5) 障がい者差別解消法について

障がい者差別解消法について、「法の名称も内容も知っている」が6.6%、「法の名称は知っているが、内容は知らない」が24.8%、「法の名称も内容も知らない」が67.8%となっています。



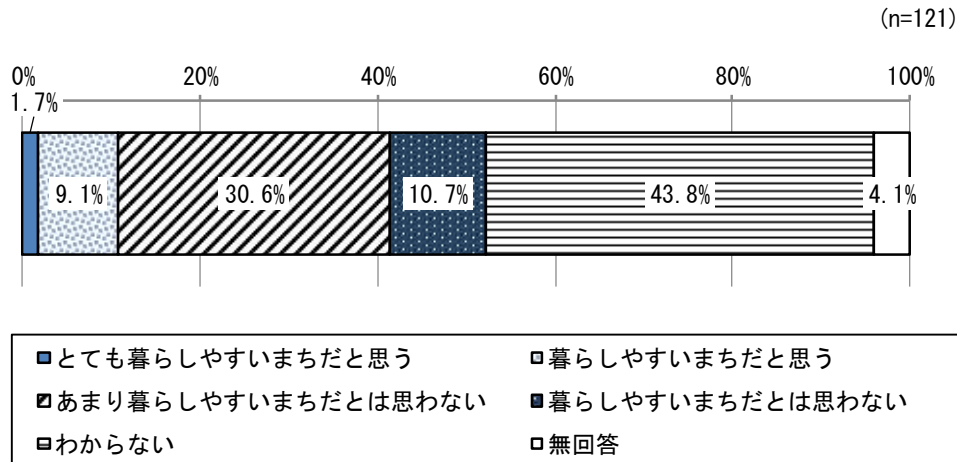
(6) 障がい者に対する理解をより深めていくために必要なことについて

障がい者に対する理解をより深めていくために必要なことについて、「学校教育での障がい者理解のための教育の推進」が71.1%、「障がいの有無にかかわらず共に学ぶ教育（インクルーシブ教育）の推進」が40.5%などとなっています。



(7-1) 障がいのある方にとっての中井町での暮らしやすさについて

障がいのある方にとっての中井町での暮らしやすさについて、「とても暮らしやすいまちだと思う」が1.7%、「暮らしやすいまちだと思う」が9.1%、「あまり暮らしやすいまちだとは思わない」が30.6%、「暮らしやすいまちだとは思わない」が10.7%などとなっています。



(7-2) 中井町の暮らしやすさについての理由

主な意見を掲載しています。

【とても暮らしやすいまちだと思う】

- ・自分が生まれてから住んでいるので。
- ・自然で空気は澄んでいるし、障がい者以外の方でも暮らしやすいと感じるから。

【どちらかと言えば暮らしやすいまちだと思う】

- ・自分の知り合いの障がい者を見て。
- ・スーパーやコンビニ、医者に行きやすい。
- ・なんとなくそう感じました。
- ・自然豊かな環境にあるから。
- ・犯罪の少ない町だから、だまされる機会が少ない。
- ・病院への通院方法が少ない。交流の場が少ない。目の不自由な人の道路整備。

【あまり暮らしやすいまちだとは思わない】

- ・駅へ行くのにバス等を利用する必要がある。横断歩道(音が鳴る)がない。ただ、暮らしやすさがどういうことなのかよくわからない。
- ・利便性が良くない。
- ・役場や改善センター棟の施設が古くて対応できていないと思う。
- ・交通が不便。
- ・ハード面が不備。
- ・交通、病院、買物、車があると便利だけれど、自由に行動ができることが、範囲は限定されている。歩道、道路整備も安全に使用できる所も限定されているので、障がい者視点で整備を進めていけば高齢者にも暮らしやすいと思う。
- ・施設が山方面にあり、ほとんど見かけない。
- ・中井町で障がいについてあまり聞かないのでわからないのですが、中学の時松葉杖を使っていた時があって、学校の階段や移動がとても大変だったことがありました。なので、障がい者にとっても移動がしにくいのではと感じました。自然豊かで空気は良く、心の面では暮らしやすいとは思いますが、生活していくためには、まだ支援できる部分があると感じたため。
- ・以前、家族が車いすを使用しており、外出時等、道路の歩道の整備がされていない場所があり、不便さを感じました。
- ・歩道の段差や音の出る信号機、車いすの通れる歩道スペース等、健常者でも歩きづらい。高齢者には特に。
- ・交通の便が良いとは言えないため。

- ・中井町には食料、服などの生活必需品を手に入れられる所があまりないため、障がいのある方が1人で生活したり、遠出することは難しいかもしれないから。
- ・交通の便が悪い。
- ・体を壊してから世間の冷たさを感じます。近所の方からの言葉で傷つけられることも多々あります。とても悲しいです。もう少し優しくできないのかと思います。
- ・障がいの度合いにもよりますが、例えば脳は正常でも手足に障がいがある方の場合、車いす等でも移動できるようなバリアフリー住宅(またはバリアフリーの賃貸マンション等)の支援や、入居できる施設があるのかな?と疑問に思います。障がいのある方でも、できる限り1人(または家族と)で生活したいと思っても、中井町で暮らすのは交通の便も良いとは言えず、バリアフリーの設備の整ったマンション等がなければ、地域共生社会は難しいと思う。もっと障がいの方と一般の方の共生できるマンション等を考えてみてはいかがでしょうか?
- ・特に町が障がい者に対して支援しているような雰囲気がない。
- ・交通が不便だから。
- ・まだ全ての道や場所が整備できているとは思わない。
- ・移動等が大変かなと思います。
- ・特に対策をしているのか、一般の人が知らないから。町も道路等段差があつたり、遊んだり楽しむような施設も設備が整っているようには思えません。
- ・交通の便が少ないから。
- ・自然環境は豊かで良いと思いますが、交通の便が悪い。お店(身近に通えるスーパーetc)がないので生活するには不便だと思う(障がい者の方に限らず)。
- ・障がいのある方が安心して生活の足に欠かせない移動手段として、オンデマンドバスの便利性の向上。暮らしやすい町住み続けられる町に思ってもらえたらいいかな。・大型車(ダンプ)の往来が多い町。私が思うには障がいのある方が安心して横断歩道も渡れないかな。信号無視で走り抜けていくダンプを何度か見かけたことがあります。走り抜けた後の風圧もすごく、目にホコリが入った人を見かけたこともありました。危険を感じる町だと思う。
- ・整っていない気がします(歩道など)。
- ・特別暮らしやすいとは思わない。他の町と変わらない(偏見はあると思う)。
- ・交通網が未整備。特に端部。
- ・ポイントとなる建物が少ない。点字ブロックなどあまり見かけない。歩道と車道があいまいな道が多い。線だけよりも仕切りがあった方が、よりどんな障がいの方も歩きやすくなるのでは。
- ・インターネットで町の情報見ても行事等のPRも少なく、見てもつまらない広報も・・・。何十年暮らしても変化なさすぎです。

【暮らしやすい町だとは思わない】

- ・足をケガした時でさえ、オンデマンドバスは急な坂道がある、目的地直前のバス停にしか止められないと言われたことがあります、これが障がいのある方であったなら、この不便さが日常であると思い、悲しくなった。学校の階段には手すりもなく、下肢に障害がある場合、登校はできないだろう。歩道の制定等もなく、歩道橋の計画すら立たないこの町で暮らすのは難しいことだと思う。また、小学校、中学校のいじめや教員からの言葉の暴力もあり、障がい者への差別や新たな問題を生む環境が現在そろっているため、町のあり方、教育、全て変わってほしいことを願わずにはいられない。障がい者が住む町としては、遠い所にある町の見本となるような現状が悲しい。
- ・住む場所によっては、交通や買物などで不便を感じると思うから。
- ・障がいある人々の移動手段が不備。イベント参加などへの不備。
- ・交通の便が不便だから。道が整備されていない場所が多いから。
- ・環境整備が不十分と思われる。
- ・お店が少なく交通の便が良くない。山、坂だらけ、高齢者ばかり。
- ・生活していくうえで、差別等、理解されていない部分もあると思うし、町役場でも積極的に支援等されていない。やはり自分らしく安心し安全に権利を持って(障がいという言葉無くし)生活していきやいけないと思う。
- ・通常でも暮らしにくい。地域の交流案内が無い。

【わからない】

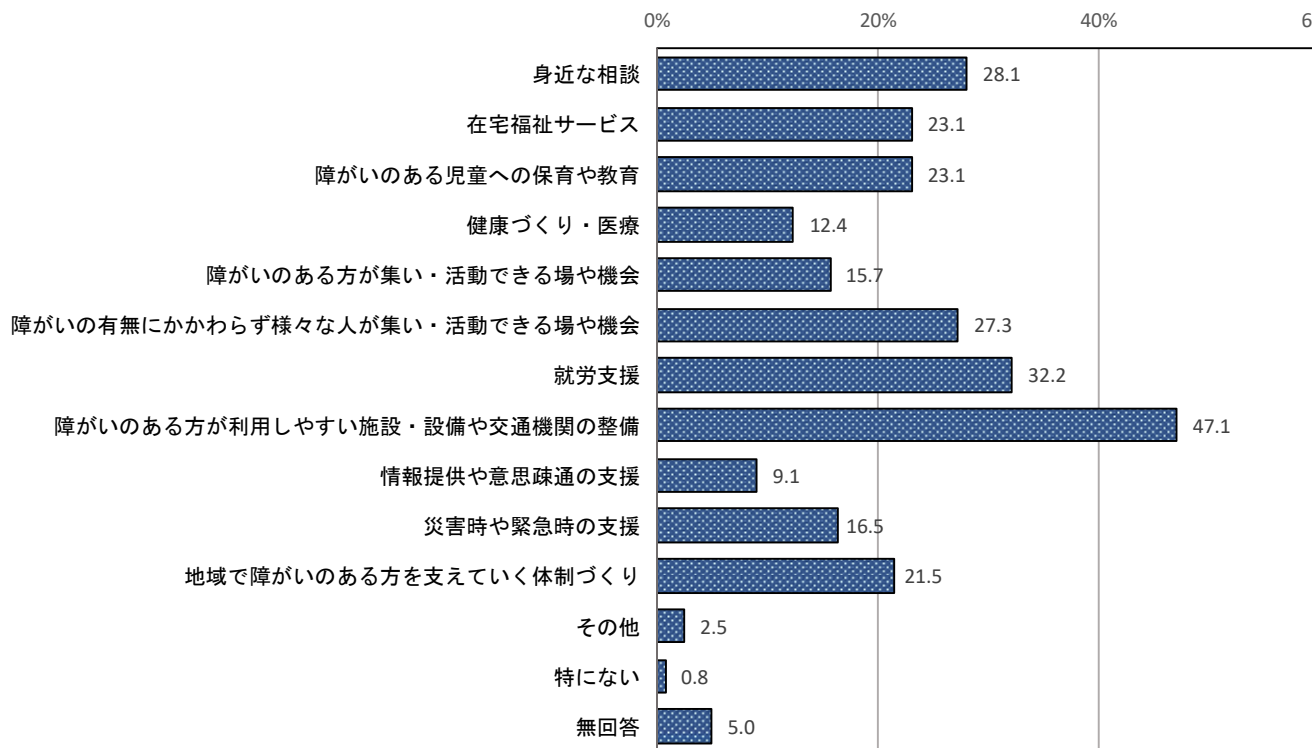
- ・障がいのある方が身近にいないため。
- ・障がいがある方が、どのような支援・援助その他を受けているかわからない(身近に障がい者がいないからかと思うが・・・)。
- ・実際、障がいのある人がどのようなことを望んでいるか把握していないから。
- ・障がいのある方に声を聞いたことがないので正直なところわかりません。

- ・障がい者団体を知ってもらうための活動が目立たないから。
- ・町内で障がいのある方を野外で見かけることが最近ほとんどありません。現実としては、どの年齢層にもいらっしやるのではないかと思っています。施設での生活・・・となっているからでしょうか。
- ・どんな支援が必要なのかは、その障がいのある方の状況やどんな障がいなのか周りの環境によって違いがあると思うので、それぞれに対応した細やかなフォローがあるなら暮らしやすい町だと思います。
- ・もし仮になってしまったと想定してみて、やすさは感じます。障がい者の方にとってはどんな意識でもたれ、生活の送り方等、その該当者の方の状況や状態等で受け取り方は個々に思われるのだろうと感じております。
- ・どのような取組みをしているのか、知らないから。
- ・中井町に住んではいますが、何もわからないんです。答えようがないのです。
- ・障がいの種類、程度、人によって求めることは違うと思うので、何をもちて暮らしやすいと思う、思わないかは当事者によると思うため。
- ・地域によっては交通の便が不便。商業施設が少ない。交流の場が少ない。
- ・実際に障がい者に対してどのような支援をしているのか知らないのです。
- ・どのように取り組んでいるのか知らないため。
- ・障がい者の声が重要で、それに沿って行政を進めていただきたい。
- ・身近に障がい者がいないため。
- ・持っている障がいによって、暮らしやすいかどうかはわからないため。
- ・具体的な設備がどうあるか、充実しているのかを把握していないため。
- ・障がいの程度にもよると思います。公共交通機関が少ないのと、町の道路(歩道確保)とバリアフリーの整備促進が遅れていると感じます。
- ・中井町で暮らしていて障がいを持った方と出会ったことがないため。また暮らしやすい町がどういったものを指しているのか思いつかなかったため。
- ・そのような目線で町を見たことがないのでわかりません。ただベビーカーでも危ないと感じる道があるので車いすの方等にとっても危ない道なのかなと思う場所等があります。
- ・障がい者が身近にいないので意見を聞く機会がない。
- ・私自身が障がい者への手助けがまだまだなので、町の取組みがなされているのか理解できていません。

(8) 障がいのある方が地域のなかで自分らしくいきいきと、安心して暮らしていくために充実すべき取組みについて

障害者のある方が地域のなかで自分らしくいきいきと、安心して暮らしていくために充実すべき取組みについて、「障がいのある方が利用しやすい施設・設備や交通機関の整備」が47.1%、「就労支援」が32.2%、「身近な相談」が28.1などとなっています。

(n=121)



4. その他の自由意見

(1) 障がいのある方の福祉について日頃感じていること、ご自身が取り組まれていることで広く伝えたいこと、行政の取組みへのご意見など

主な意見を掲載しています。

- ・アンケートを取ったりするからには、しっかりと対応・対策してより良い町にしてほしい。
- ・当事者の方の要望を知らないため、協力できることがあるのかもわからない状態です。災害時の手伝いもその人に応じた手伝い方をその場で提案できるかもわかりません。わからないので(知る機会もあまりないので)行動を起こせないというような人は、私自身を含めて多少いるのではないかと思います。このようなアンケートはインターネットでの回答にしていただけると助かります。
- ・以前、災害時の障がい者支援の訓練のため障がい者に協力依頼をした方々が”障がい者自身が積極的に参加してくれない”という話をされていました。まず、障がい者の方々がこの町に何を望んでいるのか、何に困っているのか、理解しないといけないと思います。
- ・ボランティア活動は3つほどしているのですが、障がいのある方へのボランティアはしたことがありません。構えないで自然な形でできるボランティア活動ができると、私にもできるのかなと思います。前向きに考えなければと思います。障がい(がいがヒラガナ)という言葉について初めて知りました。
- ・障がい者自身の意見聴取とその結果に対する行政の取組みが合致しているのか甚だ疑問。
- ・年齢等での若年層と壮年層、高齢等での、体力減退等あると避けられないことであり、年齢を重ねていくにしたがい、養生心や健康意識を潜在させていく。生涯現役はいかにも良さそうに思いますが、障がい者仲間の内に入るだろうと思いきことも、試みることも大事なのではと。私は、この人間全体世界社会は無意識の上に潜在的にも当たり前と思われて、標準化されているのだらうと思いますが、ひとたび障がい者になってしまった場合の住みにくさを想像してみるのも他人事ではないと感じております
- ・見守りシステムのようなものがあつたら良いと思います。
- ・様々な障がいがある中で、自由に健全者の方と過ごしていける町づくりは大事だと思います。障がいの方々が過ごしやすい場所ならば、高齢者の方も過ごしやすい場所ができると思います。高齢者社会に対応できることを、障がい者の視点から見れば近道になるのではないのでしょうか?未永く住んでいける町であってほしいです。
- ・こども園、学校などでインクルーシヴ教育が行えるよう、専門知識のある職員の増員が必要。”人数がいらないため・・・”という理由で同じ場で学べないというのはおかしい。
- ・身近に障がいの方がいなかったのではありません。
- ・障がいのある方と日常あまり接点がないと、いざ接するとき身構えてしまい戸惑ってしまうので、町のイベント等で障がいのある方も無い方も自然とふれ合える機会が増えていくといいのではないかと思います。ベビーカーの人も杖の人も障害のある人もない人も、普通に笑顔で暮らせる社会であってほしいです。
- ・自暴自棄になっていた私に手を差し伸べてくれた知人がいます。交流は10年に及びますが、数年前に高齢のその方に不幸が訪れました。自宅での転倒で寝たきりとなり介護認定は5。退院後は自宅介護の希望からご家族と私の介護が始まりました。ショートステイやデイサービスの利用とケアマネージャーや訪問診療の助けを借りながらの日々です。介護は無知の私ですが恩返しの気持ちから週に3~5日のボランティアをしています。障がいを抱えた恩人とご家族の間で潤滑油の役割をする私。ちょうどよい距離感を保ちながら公的福祉の皆様に支えられながら。それは共助と公助であり貴重な体験だと思います。今後はわかりませんが、機会があつたら居住する中井町で福祉活動を行いたい。
- ・大学の授業で障がいのある人でも1つの仕事や作業に専念し、局所的に働くことで活躍している人がいることを知った。障がいの程度にもよると思うが、「自分も働きたい、働ける」と考えている方はいると思うので、そこを支援すればより地域共生社会に近づくのではないかと。
- ・障がいある方々への配慮は親切心が大切です。特に行政側の立場ある方々の姿勢心が重要です。面倒な心で対応されると進展はないので、そのあたりの対応も求められます。
- ・障がいがあるないに関わらず、町、地域が行動することだと思います。あまり良く見えません。
- ・身近に障がい者がいない(接していない)場合と、余程関心を持っていないと、社会(行政等)の制度や支援がどうなっているのか良くわからない。ニュース等で簡単な情報が流れ日々変化していると思うが、実際の当事者でないか、深く理解しようとしないとその情報が伝わらない。結果として何をすれば良いかわからず行動できていない。
- ・障がいのレベルにもよりますが、話ができるようであれば極力話しかけてあげるように心がけています。レベルと言っている時点で差別にあてはまるのかもしれませんが、それはしょうがないこと(ある程度は)。ですが、差別的な考えは持たないようにしているし、必要があると思う。
- ・自分の子どもがADHDという発達障がいを持っています。病院にも通っていますが情報収集をする方法がインターネットからになってしまうことが多いです。仕事をしている関係で、相談したり、情報を集めたりする時間が少なく、もっと当事者の方々と話をする機会があるといいなと思います。

- ・障がい者への医療、ケア等で家族の方は大変苦勞されていると思います。ボランティアを組織して対応してほしい。
- ・障がい者に限らず手を差し伸べられる気持ちを持ってほしいですね。
- ・車いすを利用している人にとっては些細な段差も大変になってしまうと感じています。
- ・身近にいないので考えることもあまりありませんでしたが、行政でアンケートを取るなど考えてくれているんだと改めて感じました。
- ・バリアフリー化が進み、体の不自由な方でも利用しやすくなっている。体の不自由な人をエレベーター式なもので上へ(2階)と移動しやすくなっている所はともありがたいと感じる。障がいがあるからと差別してはならないと強く感じる。
- ・障がいのある方への接し方がそもそもわからないです。障害がある、なしに関係なく誰もが住みやすく感じられる町づくりが大切だと思います。
- ・過去、福祉の仕事をしていました。いつも感じていたことは、福祉に関わりのない人たちは、福祉(障がい者、高齢者)のことは他人事ということ。義務教育で、やまゆり園や高齢者福祉施設のような所へ体験や見学に行き、命を学ぶことが必要。軽度の方や重度の方を知り、それを支える施設や職員のことを学び、福祉での慢性的な人手不足にもつながるのではないかと思う。“共存しているんだ”という認識がなさすぎる。普通の生活では福祉について意欲的に学びたいとはならない。
- ・オンデマンドバスの利用形態や運行先の改善。
- ・手を出せばお節介と思われてしまいそうで中々声をかけづらいです。
- ・今回このようなアンケートをいただくまで特に考えたことがありませんでした。身近に障がいを持った方がいらっしやるともっと問題に真摯に取り組むことができるのかもしれないと感じました。
- ・障がいのあるないに関わらずなのですが、小中学生の登下校等、子どもだけで歩くには不安な場所(事故、事件)がたくさんあります。特に中井は不審者が多いと聞くので……。防犯カメラ設置等、子どもたちの安全を守ることが障がいのある方を守ることにもつながるかなと思っています。
- ・障がい者やその家族の要望に応え、それに沿った行政。障がい者という言葉がすでに差別していると思います。この言葉が大嫌いです。もっと明るくステキなネーミングを町民から募集し、中井町から発信し、日本中に行き渡れば、中井町の知名度も上がると思います。いいチャンスと思います。
- ・役場での福祉道具の貸出、見回り、声掛け、福祉制度(わかりやすく誰もが)や発信など積極的にやっていくべきだと思う。
- ・共生社会と国が言っているものの、中井町では具体的な活動がない。偏見がある人のため、教育の場で障がい者理解があっても良いと思う。
- ・健常者、障がい者という隔たりが強いと思います。障がい者ももっともっと表に出て他人に手助けをお願いできる体制を町が開いてくださったら良いと思います。障がい者は恥ずかしくないです。健常者もいつ障がいを持つかわからないので、もっと勉強したいですね。